鴻巣市勢要覧

市制施行60周年記念

鴻巣（こうのす）

花 かおり
緑 あふれ
人 輝くまち

特集 I

8つの日本一 鴻巣自慢

市制施行60周年記念

平成26年に市制施行60周年を迎えた鴻巣市には、
“8つの日本一”があります。
鴻巣の特産である花や人形にちなんだものや、
川やイベントに関連するものなど、
12万市民が誇るべき、鴻巣の自慢です。
ひなちゃんと一緒に、
鴻巣の豊かな個性と魅力を探ってみましょう。

ごあいさつ

鴻巣市長
原口和久

Greetings
Kazuhisa Haraguchi
Mayor of Konosu City

鴻巣市は、埼玉県のほぼ中央に位置しており、長い歴史と伝統を誇る「ひな人形のまち」として、また、近年では全国有数の「花のまち」としてその名が知られる、水と緑に囲まれた豊かな自然と伝統産業が調和した、人口約12万人の都市です。

本市には8つの日本一があり、中でも「荒川の川幅日本一」にちなんで考案された「川幅うどん」をはじめとする「川幅グルメ」は、多くのメディアで取り上げられております。また、毎年、市内外から大勢の皆様にご来場をいただいております「鴻巣びっくりひな祭り」、「こうのす花まつり」、「こうのす花火大会」、「鴻巣パンジーマラソン」など、魅力ある多彩なイベントが目白押しです。

本市は、昭和29年に1町5村（鴻巣町、箕田村、田間宮村、馬室村、笠原村、常光村）の合併により県内17番目の市として誕生し、東京都から50km圏内という地理的条件にも恵まれ、県央地域の中核都市として着実に発展を続けております。

本年は、鴻巣市が市制を施行してから60周年、また、平成17年10月に鴻巣市、吹上町、川里町が合併してから10年目を迎える記念すべき年です。この節目の年を市民の皆さんと一緒にお祝いし、これまで先人たちが築いてきた歴史や文化、伝統をしっかりと次の世代へ引き継ぐとともに、未来に向けて夢と希望に満ちたまちづくりを継承する契機となることを心より願っております。

このたび、市制施行60周年を記念して発行したこの要覧では、鴻巣の豊かな自然や魅力的なイベント、市民の皆さんの活動などを数多く紹介しています。この要覧を通して、「ふるさと鴻巣」の魅力を再発見し、私たち市民の誇りである豊かな郷土を実感していただければ幸いです。

In celebration of the 60th anniversary of the city's reorganization

Located almost in the center of Saitama Prefecture, Konosu City is renowned for its long history and tradition of producing hina dolls (traditional dolls for girls) and has recently become famous as one of the Japan's largest "city of flowers." With a population of approximately 120,000 people, the city is surrounded by water and greenery and its abundant nature is in wonderful harmony with the traditional arts and crafts industry.

Konosu City boasts Japan's No. 1 in eight areas, one of which is the width of Arakawa River. This fact has gained much media attention through its original kawahaba ("river-width") food items including kawahaba udon. The city also attracts many people, locals and visitors alike, every year for its variety of delightful events including the Konosu Surprise Hinamatsuri (doll festival), Konosu Flower Festival, Konosu Fireworks Display and Konosu Pansy Marathon.

Konosu City was born as the 17th city in Saitama Prefecture after the merger of one town and five villages (Konosu Town, Mida Village, Tamamiya Village, Mamuro Village, Kasahara Village and Joko Village). Perfectly located within 50 km from the Tokyo metropolitan area, the city continues to develop as the major urban city in the central region of the prefecture.

This year, Konosu City celebrates the 60th anniversary of its reorganization as a city, while also marking the 10th year since it merged with Fukiage Town and Kawasato Town in October 2005. I am excited to be able to celebrate such a milestone with the citizens. I hope from the bottom of my heart that the history, culture and tradition that our forerunners have built will be passed on to the next generation and that this celebration will serve as a good opportunity to foster city development filled with dreams and hopes for the future.

This directory has been issued in commemoration of the 60th anniversary of the city's reorganization. It is filled with all the information pertaining to Konosu City including its rich nature, interesting events and activities engaged by the local people. I hope that you will find this directory helpful in rediscovering the appeal of "hometown Konosu" and appreciating the rich natural environment that we are all proud of.

contents

01 市制施行60周年記念 特集Ⅰ ひなちゃんがご案内「8つの日本一 鴻巣自慢」
02 vol.1 百花繚乱・花のまち
「百花繚乱・花のまち」を支える市民の力
06 vol.2 緑豊かな川のまち
元荒川の橋めぐり
「緑豊かな川のまち」を支える市民の力
10 vol.3 歴史に彩られた人形のまち
「鴻巣びな」の歴史・鴻巣の赤物人形
「歴史に彩られた人形のまち」を支える市民の力
14 vol.4 心をつなぐふるさとのまつり
歴史を誇る伝統行事
「心をつなぐふるさとのまつり」を支える市民の力
18 市制施行60周年記念 特集Ⅱ 空から見る60年目の鴻巣市
鴻巣エリア・吹上エリア・川里エリア
24 市制施行60周年記念 特集Ⅲ 鴻巣市60年のあゆみ
32 こうのす歴史物語
34 鴻巣の食を堪能する！
36 Message from こうのす観光大使
37 「花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす」
38 安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり
39 すべての人が健やかで思いやりのあるまちづくり
40 心ゆたかでときめきのあるまちづくり
41 利便性が高くうるおいのあるまちづくり
42 いきいきと個性かがやく活力あるまちづくり
43 市民協働のまちづくり
44 スリムで効率的な行政経営によるまちづくり
44 行政・議会
46 統計で知る鴻巣市
48 鴻巣市ガイドマップ

vol.1 百花繚乱・花のまち

荒川河川敷に広がる栽培面積日本一のポピーのじゅうたんと
出荷量日本一を誇るサルビア、プリムラ、マリーゴールド。
四季折々に咲き競う美しい花々は、
街角に彩りを添え、主要産業としてまちを支えてきました。
市民とともに進める「花のまち」づくりは鴻巣市が全国に誇る自慢のひとつです。

日本一！
ポピーの栽培面積 12.5ha

東京ドーム約2.5個分の広さなんだ！

荒川河川敷を埋め尽くす3千万本のポピー畑

毎年5月中～下旬になると、御成橋付近の河川敷は、赤やピンク、オレンジ色のポピーの花で埋め尽くされます。このポピー畑は、荒川河川敷の不法投棄防止と「花のまち鴻巣」をアピールすることを目的に栽培されています。平成20年には、栽培面積の広さが日本一として、認定されました。今や花の名所として定着した広さ日本一のポピー畑は、毎年、市内外の見物客でにぎわいます。約3千万本のポピーが川風に揺れる光景は圧巻です。

街中が花であふれる「こうのす花まつり」

花のまちを市内外にアピールしようと毎年5月に開催されているのが「こうのす花まつり」です。日本一広いポピー畑（ポピー・ハッピースクエア）でのポピーまつりをはじめ、麦なでしこまつり、吹上ポピーまつり、花久の里バラまつり、鴻巣オープンガーデン、花の装飾・販売・ステージイベントなどでにぎわうせせらぎ公園など、花まつり期間中は、市内各地が花であふれます。花のまち鴻巣だからこそ実現できる、花づくしの9日間です。

COLUMN 花のまち鴻巣 花づくりの歴史

鴻巣市の花生産の始まりは、「パンジー」です。1948年（昭和23年）、寺谷地区の農家が、鴻巣の気候風土に適した花としてパンジーの生産を開始。戦後の食糧難の最中にもかかわらず、パンジーはよく売れ、1953年（昭和28年）には花き生産者が17軒に増大しました。東京オリンピックが開催された1964年（昭和39年）には、パンジー生産は全盛期に。その後、サルビア、プリムラ、マリーゴールドなど生産品種を増やす一方、山上げ栽培を導入するなどして、産地の発展・拡大を図ってきました。現在、市内の花き生産者は200軒を超えています。

昭和48年のパンジー栽培の様子

City surrounded by many different flowers

Konosu City has Japan's largest poppy-growing fields at dry riverbeds along the Arakawa River and ships out the largest volumes of salvias, primulas and marigolds in Japan. As you can see, Konosu City is really the "city of flowers." Beautiful blooming flowers have supported the city as one of its major industries, adorning the street corners in all seasons. The Konosu Flower Festival is held in May each year to let people inside and outside of the city know more about the biggest flower producer in Japan. During the festival, so many flowers, including poppies, agrostemmas and roses greet you all across the city. This is a nine-day flower-focused event which cannot be seen anywhere else but Konosu, the city of flowers.

サルビア
(Salvia)

プリムラ
(Primula)

日本一！
プリムラ出荷量 年間272万鉢（平成18年度）

日本一！
サルビア出荷量 年間90万本（平成18年度）

日本一！
マリーゴールド出荷量 年間138万本（平成18年度）

マリーゴールド
(Marigold)

鴻巣生まれの花が全国のお庭や街角を飾っているんだよ。

鴻巣から全国へ 鴻巣生まれの花々

花栽培のビニールハウスが立ち並ぶフラワー通りをはじめ、花の生産農家が数多く点在する鴻巣市は、花き市場や直売所等がある日本有数の花の産地です。

農林水産省が行った市町村別の統計調査（平成18年度）によれば、サルビア、プリムラ、マリーゴールドの出荷量は、それぞれ全国第1位。こうしたデータからも、鴻巣市は花の一大産地であることが証明されています。

フラワー通り近くにある「花のオアシス」では、市民ボランティアの皆さんが毎年、サルビアを植栽し、秋になると、1万5千本のサルビアが真っ赤なじゅうたんを作り出しています。

こうのす花まつり（せせらぎ公園）

「百花繚乱・花のまち」を支える市民の力

「花のまち鴻巣」の名を全国に！
さまざまな場所で花の魅力を発信する
市民の活躍が大きな力になっています。

最高！花は心を豊かにしてくれます。

フラワーフレンズのみなさん

市民と行政の協働で「花を活かしたまちづくり」を進める花のボランティアです。公共花壇の花植えや草取り、咲き終えた花の剪定などを行っています。誰でも参加できるのはもちろんのこと、活動予定表に合わせて、好きな時に参加できるのも魅力です。好きな花の手入れをすることで、きれいになった花壇を見て喜んでくれる人がいるのは最高です。

全国でも有数の花産地。鴻巣の花をもっとPRしていきたい。

鴻巣市花組合組合長　山﨑茂（やまざきしげる）さん

市内84の花き生産者が所属している組合で、北鴻巣駅などの花の植え込みや、市内の小学校で花の特徴や飾り方、育て方を指導する「花育教室」を行っています。鴻巣は「生産→流通→小売→消費」といった花産業のすべてを備えた全国でも珍しい花の産地です。鴻巣の子どもたちにこの花育を通して、花を育てる楽しさと地域への愛着を育んでほしいと思っています。そして、鴻巣の花をもっとPRしていきたいですね。

競い合ったり、ほめ合ったり花を育てる楽しさ5倍に。

鴻巣オープンガーデン「花の環（わ）」代表　岩井宏有（いわいひろなお）さん

オープンガーデンは個人の庭を一般に公開するという市民活動です。私もつるばらとつる植物をコンセプトにした庭を毎年、訪れた方々に見ていただいています。もともと花を育てるのが好きでしたが、「花の環」に入ったことで、その楽しさは5倍になりました。ガーデニングという共通の趣味を持つ友と出会え、その友と競い合ったり、ほめ合ったり、教え合ったりすることで楽しい日々を過ごしています。

団体の枠を超えて、花好きが集合、吹上地域をもっと花いっぱいに。

ふきあげコミュニティづくりの会のみなさん

吹上地域の商工会や長寿会、さまざまなボランティア団体が所属している会で、花の植栽や吹上駅のライトアップ事業をしています。花の活動は、吹上駅前や元荒川の桜橋付近の花壇の手入れ、県道の清掃美化活動に取り組んでいます。毎回、それぞれの団体の枠を超えて、多くの会員が参加。吹上地域の街中や道路脇をいつも花が咲いている景観にしたいという思いで取り組んでいます。

Power of the citizens supports this city surrounded by many different flowers

There are citizens who have made efforts to let people across the country know more about Konosu, the city of flowers, while introducing and showcasing its attractive flowers in various locations. Many of these citizens, who love flowers so much, have made great contributions to the city through getting involved in a variety of activities.

鴻巣駅前の花時計

鴻巣市の玄関口であるJR鴻巣駅東口駅前の花壇には、花時計があります。この花時計は、太陽光発電で動いているエコ時計で、市民ボランティアによって植えられた色鮮やかな花の上を、長針・短針が時を刻んでいます。四季折々の花で彩られる花時計は、季節に合わせて表情を変えるのも魅力です。

花と緑の力を借りて人々を笑顔にしていきたい。

NPO法人フラワーピース代表理事　吉田誠（よしだまこと）さん

「花と緑のまちづくり」をモットーに、公共空間の花装飾や緑のカーテンの普及などを行っています。活動の柱は、ハンギングバスケットの普及です。壁にかけたり、つるしたりして楽しめるもので、市内各駅のロータリーなどに飾っています。花や緑には人々を笑顔にする力があります。花を飾る活動だけでなく、花と緑の不思議な力を借りて、人々を幸せな気分にさせる活動をしていきたいと思っています。

⑦ポピー・ハッピースクエア（5月）

④花のオアシス 春のチューリップ（4月）

⑤花久の里のバラ（5月）

⑥麦なでしこ（5月）

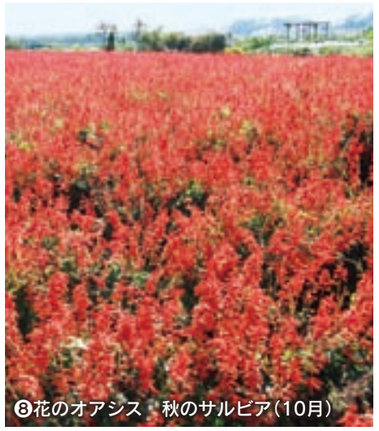
①吹上元荒川桜並木（4月）

②鴻巣公園の桜並木（4月）

③あかぎ公園の桜（4月）

❶吹上地域の元荒川両岸には、約500本のソメイヨシノが立ち並び、多くの花見客でにぎわいます。
❷鴻巣公園では、約200本の桜が咲き誇ります。隣接する勝願寺の仁王門を彩る桜も見ものです。
❸川里工業団地に隣接するあかぎ公園には、約200本の桜が咲き誇ります。
❹寺谷地区にある花のオアシスでは、春に色鮮やかな35,000本のチューリップが楽しめます。
❺花と音楽の館かわさと「花久（かきゅう）の里」では、安らぎを感じる空間にバラの庭園が広がります。
❻栽培面積日本一のポピー畑に隣接する麦なでしこ畑では、薄紫色の可憐な麦なでしこが咲き誇ります。
❼御成橋付近の荒川河川敷では、栽培面積日本一のポピー畑で約3,000万本のポピーが楽しめます。
❽花のオアシスでは、秋になると出荷量日本一のサルビア約15,000本が園内を深紅色に彩ります。
❾コスモスアリーナふきあげ周辺の荒川河川敷では、約1,000万本のコスモスが咲き誇ります。

❾コスモス畑（10月）


❽花のオアシス・秋のサルビア（10月）

東日本最大級の花き市場 鴻巣フラワーセンター

鴻巣市産の花をはじめ、全国各地から花が集まる花き市場です。集まった花は自動で6つのレーン上を進み、せりにかけられます。スクリーンに映し出された花がスタート価格から下がっていき、端末を使って一番早く値段をつけた人が競り落とす「せり下げ」というシステムです。こうした自動化により、花き流通の効率化が実現しています。買い付けられた花は新鮮なうちに関東近郊の花屋の店頭に並びます。

vol.2 緑豊かな川のまち

西に雄大な荒川、中央部に元荒川や武蔵水路、
東に見沼代用水、野通川などが流れる鴻巣市は、
まちのあちらこちらに、緑豊かな自然が息づいています。
川幅日本一の荒川や長さ日本一の荒川水管橋、
元荒川に架かる吹上地域の17本の橋梁群など
緑と水辺が作り出した美しい景色とともに、
それらを守る市民の姿を紹介します。

日本一!

荒川の川幅
2,537m

鴻巣市と吉見町の境を流れる川幅日本一の荒川

鴻巣市と吉見町をつなぐ御成橋のたもとに、「川幅日本一」と書かれた大きな標柱が建てられています。この付近から吉見町の荒川堤防まで、車を走らせても、なかなか吉見町の堤防は見えてきません。

「川幅」とは、国土交通省によると、河川敷を含めた堤防間のことを指します。普段の荒川の川面幅は数十メートルですが、鴻巣市と吉見町の堤防間（＝川幅）は2537メートル。こうして、鴻巣市は吉見町とともに川幅日本一の栄冠に輝きました。川幅日本一に架かる橋・御成橋は、富士山や秩父連山を望むことのできるビュースポットでもあります。

榎戸堰公園
(Enokido Bank Park)

荒川パノラマ公園
(Arakawa Panorama Park)

菜の花に彩られる荒川堤防
(Arakawa Bank)

御成橋から見える富士山
(Mt. Fuji)

緑と水辺の癒しスポット

日本一!

水管橋の長さ
1,100.95m

荒川を渡る真っ赤な橋は長さ日本一の水管橋

水管橋とは、川や谷を越えて水を運ぶための水道管の橋で、水道橋、水路橋とも呼ばれています。

昭和59年に完成した荒川水管橋は、全長が1100・95メートルあり、水管橋としては日本一の長さを誇ります。

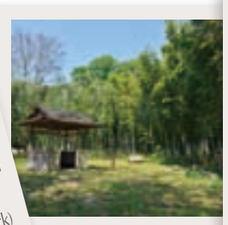
この水管橋は、真っ赤な14個のアーチが特徴です。青空をバックに、真っ赤なアーチが連なるさまは絶景です。

周辺の河川敷には、関東有数の規模を誇る吹上パークゴルフ場が広がっています。また、春にはポピー、秋にはコスモスが一面を埋めることでも有名です。ポピー畑やコスモス畑から眺める荒川水管橋も必見です。

City of rivers surrounded by greenery

There are a number of rivers flowing in Konosu City, such as the majestic Arakawa River on the west side, the Motoarakawa River and the Musashi Waterway in the middle, and the Minumadai Irrigational Canal and the Yadorigawa River on the east side. You can see natural green spaces all across the city. The Arakawa River is flowing along the border between Konosu City and Yoshimi Town. Its width is approximately 2,537 meters, the widest in Japan. The Onari-bashi Bridge over Japan's widest river offers a vantage point from which you can see Mount Fuji and the Chichibu Mountains. The 1,100.95-meter-long Arakawa Water Pipe Bridge, which was built in 1984, is the longest water pipe bridge in Japan and characterized by its 14 red arches.

石田堤史跡公園
(Ishida Zutsumi Historic Site Park)


竹林公園
(Chikurin Park)

川里中央公園の弁天池
(Benten Pond)

さきたま緑道
(Sakitama Green Road)

元荒川の桜
(Motoarakawa River)

⑤吹上橋

昭和８年竣工。時局を反映して戦車が通れるような頑丈な造りとなっています。吹上地域の生活に密着した橋です。

④榛名橋

平成元年竣工。行田から東松山に通じる主要地方道行田東松山線上にあります。桜の欄干が特徴です。

③洲崎（すざき）橋

昭和37年竣工。上流から３つ目の橋にあたります。古い昔ながらの情緒ある橋です。

②鉄橋

明治16年、木造橋が開通。大正５年に単線で鉄橋を開通し、昭和５年、下り線が併設されました。

①榎戸堰（えのきど）と新宿（しんしゅく）橋

昭和52年に竣工。吹上元荒川の上流入り口にあたります。隣接する榎戸堰公園には建設工事の碑があります。

⑧桜橋

平成３年竣工。吹上元荒川の桜並木の中心部にあります。さくらまつりなどで、イベント広場としても使用されています。

⑦佐賀橋

昭和８年竣工。以前は、石造の橋と鉄道馬車用の木橋がありました。元荒川の改修により現在地に新たに架けられ、現在は擬似木を用いた橋となっています。

⑥新佐賀橋

昭和８年竣工。アーチ型の橋で、欄干に桜をあしらった装飾があります。「新」とつくのは、隣の佐賀橋の方が古いためです。平成24年に「土木学会選奨土木遺産」に認定されています。

元荒川の橋めぐり

市内を縦断する元荒川。吹上地域に架かる17本の趣の違う橋梁群は、公益社団法人土木学会の「日本の近代土木遺産」に選定されました。

⑫遠所（えんじょ）橋

昭和39年竣工。「遠い所に架けられた橋」ということで、「えんじょばし」と名づけられました。

⑪水鳥（みずどり）橋

平成６年竣工。元荒川の支流、前谷落としの終点に架かっています。欄干には擬宝珠（ぎぼし）が付き、あずまやもあります。

⑩高砂橋

４つの親柱は灯籠をイメージして造られています。和歌が刻まれた親柱もあり、趣のある橋です。

⑨新宿（あらじゅく）橋

昭和62年竣工。南はＪＲ吹上駅へ、北は行田市へ通じる県道行田東松山線にある橋です。欄干には五弁桜が施されています。

⑰アサヒ橋

昭和35年竣工。以前は両岸に「アサヒゴム」の工場があり、工場間を結ぶ橋として利用されていました。

⑯元荒川橋

昭和25年竣工。旧国道に架かる橋です。昭和54年に改修され、歩道も整備されました。

⑮小谷（こや）橋

昭和７年竣工。３つのアーチが川面に映る美しい橋。鉄道のレールを再利用して造られています。

⑭砂山橋

昭和53年竣工。４つの親柱は産地の違う御影石を使用。四季を表現した彫刻が施されています。

⑬筑波橋

昭和47年竣工。御影石の親柱に照明が挟み込まれ、親柱の間から輝く光にメルヘンな世界を表現した欄干が特徴です。

「緑豊かな川のまち」を支える市民の力

人と自然が共存する鴻巣の緑豊かな環境を未来の子どもたちに残すために、活動している市民がいます。

北根地区の田んぼを守りながら、地域の和を育んでいます。

北根田んぼ環境保全会のみなさん

地域住民が一体となり、農水省の交付金を活用して、地域の田んぼ・農業用排水・農村環境を守る活動を行っています。アジサイの挿し木を持ち寄り、地域の子どもたちと一緒に植栽を行い、８年前に植栽したアジサイは見事に花を咲かせ、毎年アジサイ祭り（地域交流会）を実施しています。また、夏にはどろんこ祭り、秋にはコスモス祭りも開催しています。こうした活動を通じて、地域のコミュニティと和を育んでいます。

Power of the citizens supports this city of rivers surrounded by greenery

A green environment in Konosu City has helped people and nature coexist. In the city, there are many citizens who have got involved in activities to pass on such a precious natural environment to children for the future. They love Konosu City. It is their love for the city that has become a driving force and played a crucial role in these activities.

魚とりや水遊びを楽しんだ元荒川。再び、子どもたちにその楽しさを！

吹上元荒川をきれいにする会 会長 柿沼（かきぬま）照秋（てるあき）さん

36年ぶりに鴻巣に戻った平成19年、元荒川が様変わりしていたことに触発され、同級生などに声をかけ、元荒川の清掃を始めました。以来、水量が低い時は、川の中へ入り、川底に堆積したプラスチックゴミなどを拾っています。川に入ると、魚とりや水遊びをした10歳の少年の頃に戻れるから不思議です。きれいな元荒川を知っている私たちだからこそ、少しでも昔のような元荒川に戻して、次の世代にバトンタッチしたいと思っています。

100人で一歩前に進む活動で、鴻巣の自然を未来に残していきたい。

鴻巣の環境を考える会 会長 川島秀男（かわしまひでお）さん

環境保全、自然保護、温暖化防止など自然環境の専門家が集まった団体です。市と協働でエコライフＤＡＹを実施しているほか、市内小中学校の総合学習に出向いて、元荒川の水質調査や生きもの観察を行っています。鴻巣は首都圏に位置しながらも、豊かな自然が残っています。こうした鴻巣らしい自然を守り、コウノトリも住める自然環境を未来に残していきたい。そのために、１人が100メートルを突っ走るのではなく、100人で一歩前に進むような活動をしています。

コウノトリも住める自然環境を目指しています。

ＮＰＯ法人鴻巣こうのとりを育む会 代表 伊藤鋳義（いとうかねよし）さん

鴻巣の空にコウノトリを飛ばそうと活動しています。実現のためには、たくさんの方々のご理解とご協力が大切です。そのため、市民の皆さんに署名活動をお願いしたり、将来的にコウノトリのえさ場にもなる“湿地ビオトープ”整備のほか、農薬を極力使わない農法による米づくりや田んぼの冬期湛水（冬水たんぼ）などを試しています。コウノトリも住める自然環境は、私たち人間にとっても優しい環境です。コウノトリが鴻巣の空を舞う、そんな自然環境を目指しています。

“鴻巣”地名の由来!?「こうのとり伝説」

むかし、この地に「樹の神」と呼ばれる大きな樹があり、人々はお供えをして、樹の神の難を避けていました。あるとき、コウノトリがやって来て、この大木に巣を作り、卵を産みました。その卵を狙った大蛇をコウノトリが退治したところ、それまで人々を苦しめてきた猛烈な日照りが嘘のように突然雨が降り出しました。以来、この地は災いもなくなり、平和な日々が続いたので、人々は大木の下にお宮をつくり、コウノトリのお宮「鴻の宮」（現在の鴻神社）と名づけ、この地の守り神としました。そして、コウノトリが巣をかけたところとして、「鴻巣」と呼ばれるようになったといわれています。

vol.3 歴史に彩られた人形のまち

江戸時代には関東三大雛市の一つに数えられ、
ひな人形の産地として全国に知られる鴻巣市。
その伝統は今も脈々と受け継がれています。
人形づくりの伝統は、鴻巣市民の誇りです。

日本一！
ピラミッドひな壇の高さ
31段7m

ひな壇づくりでは
大勢のボランティアスタッフが
がんばっているんだね。

五角すい型ひな壇
（エルミこうのすショッピングモール）

六角すい型ひな壇
（花久の里）

八角すい型ひな壇
（コスモスアリーナふきあげ）

日本一高いピラミッドひな壇

毎年2月中旬から3月上旬に「鴻巣びっくりひな祭り」が開催されます。市民ボランティアが主体となり、企画・運営しているものです。

市内外から訪れた人々を〝びっくり〟させているのが、市役所ロビーに飾られる31段のピラミッドひな壇です。高さはなんと、7メートル。日本一の高さを誇ります。31段のひな壇に数え切れないほどのひな人形が並ぶ光景は、まさに圧巻です。ほかにも、「五角すい型ひな壇」、「六角すい型ひな壇」、「八角すい型ひな壇」なども登場。期間中は、鴻巣駅や中山道にもひな人形が飾られ、まち全体がひな祭りのお祝いムードであふれます。

Historical City of dolls

Konosu City was one of the top three markets for hina dolls (traditional dolls for girls) in the Kanto area in the Edo period (circa 1603-1868). It has long been known as a major producer of them nationwide, passing down this tradition from generation to generation.

The city holds the Konosu Surprise Hinamatsuri (doll festival) from mid-February to early March every year. At the lobby of the city hall, a 31-tier hina dan pyramid attracts everyone's attention. This pyramid reaches seven meters in height, the highest hina dan pyramid in Japan. Besides this, you can see many different hina dan pyramids in the festival, including pentagonal, hexagonal and octagonal pyramids. During the event, hina dolls are also placed in Konosu Station and the old Nakasendo highway, and help enhance the festive atmosphere of the hinamatsuri.

COLUMN 人形のまちをPRする産業観光館「ひなの里」

鴻巣の伝統産業である人形や、国指定重要無形民俗文化財の赤物製作技術など、鴻巣の人形の歴史を学べる施設です。享保雛や古今雛などの古いものから、現代のコンパクトタイプまで、さまざまな時代のひな人形を年表に沿って見ることができます。

建物は風情あふれ、なかでも明治期に建てられた蔵は歴史的建造物で、平成25年には県の景観重要建造物に指定されています。明治の蔵前に広がる中庭では、季節ごとの花々が楽しめます。

江戸時代中期の鴻巣びな「天女」

江戸時代より連綿と続く 鴻巣びなの歴史

昔のひな人形職人の様子

鴻巣に人形づくりが伝えられたのは、天正年間（1573～1591）のことで、最初は、土で形を作って焼く素朴な土人形や張り子でした。それが、江戸時代中期から、お内裏様とおひな様が対になった人形が作られるようになり、練り人形の製法がとられるようになりました。「鴻巣びな」として知られるようになったのは、この頃からです。

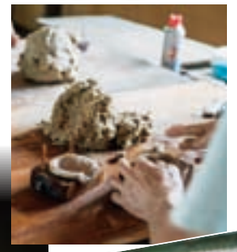
やがて、関東三大雛市のひとつに数えられるまでに成長を遂げました。特に、着物の着せ付けは関東一との呼び声が高く、江戸の職人たちが競って鴻巣に修業に来たといわれています。明治になると、高度な技術と優れた品質で「鴻巣びな」の名は全国に知れわたるようになりました。人形業者31軒、職人300人という記録からも、その盛況ぶりがうかがえます。

現在も中山道沿いの人形町には、人形づくりに関連する業者が並んでおり、江戸時代から続く鴻巣びなの伝統は、平成の今もしっかりと守り続けられています。

人形に着物を着せていく「着せ付け」

伝統の技が国指定文化財 鴻巣の赤物人形

赤物人形は江戸時代から魔除け・病除けとして、また、軽くて丈夫な郷土玩具として、庶民に愛され続けてきた素朴な人形です。桐のおがくずに糊を加えて練った生地を型に入れて成形し、乾燥させた後、赤く彩色します。桐の産地でもあった鴻巣では、桐の家具を作った後に出るおがくずを使い、赤物人形が盛んに作られました。現在も、市内には赤物人形を昔ながらの製法で生産し続ける職人がいます。この赤物製作技術は平成23年、玩具の製作技術としては全国で初めて国の重要無形民俗文化財に指定されました。



「歴史に彩られた人形のまち」を支える市民の力

人形の産地として全国に知られる鴻巣市。その歴史は、人形を心から愛する市民に今も脈々と受け継がれています。

昔ながらの製法で、鴻巣の赤物を作り続けます。

赤物人形職人　大塚文武（おおつかふみたけ）さん

昔ながらの製法で赤物を作っています。材料も昔のまま、我々職人がやっていることも昔のまま、何一つ変わっていません。赤物はぜいたく品ではなく、庶民に愛されてきた素朴な人形です。その素朴さは、手作りだからこそ生まれるもの。一度でもまやかしものを作ったら、鴻巣の赤物は消えてしまいます。細く長く赤物を作っていくことが、鴻巣の赤物の伝統を守ることだと思っています。

鴻巣びなの伝統を、次の世代に残していきたい。

埼玉県伝統工芸士　人形師　飯嶋紫純（いいじましじゅん）さん

人形づくりに携わって約30年になります。私は、鴻巣ひな人形の長い歴史の中の一部ですが、ひな祭りの文化や風習、人形づくりの技術を次の世代に残すための努力をしたいと思っています。人形づくりは感覚が大事です。私自身も先輩の仕事を見て覚え、自分なりの感覚をつかんで技術を高めてきました。今後は、後進が自分なりの感覚を習得できるような手本となっていきたいです。

人形のまち鴻巣を、多くの人に知ってほしい。

埼玉県伝統工芸士　頭師・ひな人形作家　的場健一（まとばけんいち）さん

祖父、父も頭師、私は４代目です。頭師の傍ら、伝統工芸の実演会に出たり、「ひなの里」などで開催されている絵付け体験教室の講師もしています。難しいと思われがちな人形の絵付けですが、実際にやってみると楽しいものです。職人ですので、人前で話したりするのは苦手だったのですが、完成した人形を見て喜ぶ人々を見るたび、私も幸せな気持ちをもらっています。

Power of the citizens supports this historic city of dolls

Konosu City has been known as one of the major doll producers in the country. The city's history of doll making has been passed down from generation to generation among those who love dolls very much.

日本一高いピラミッドひな壇で人形のまち鴻巣をＰＲ。

鴻巣びっくりひな祭り実行委員会 会長　生川朋（おいかわあきら）さん

「歴史のある人形のまち鴻巣をもっとＰＲしたい」そんな思いで、日本一高いピラミッドひな壇を作りました。市役所に飾られる31段のひな壇は、たくさんのボランティアと職人が組み立てています。また、市内各所に五角すい型、六角すい型、八角すい型、三面ピラミッド型のひな壇を登場させました。高さ日本一のひな壇を作り、たくさんの人に喜んでもらえることは、我々実行委員一同の誇りです。

人形のまちならではの「人形感謝祭」

毎年11月14日、勝願寺の境内で、壊れたり飾られなくなった人形を供養する「人形感謝祭」が行われます。各地から多くの人が人形を持って集まり、お坊さんの読経後、お焚き上げをしてもらいます。

また、かわいらしく着飾った子どもたちによる「稚児行列」もあります。これは子どもたちの健やかな成長を願う行事です。

稚児行列の様子

お役目を終えた人形を供養します

日本一!

尺玉以上の花火打ち上げ数
1分間約75.5発

vol.4 心をつなぐ ふるさとのまつり

市民主導で開催される「こうのす花火大会」から、地域の伝統を受け継ぐ行事や市民参加型のイベントまで、特色あるまつりの数々が鴻巣の四季を彩ります。

秋の夜空に輝く大輪の花

鴻巣の秋の夜の風物詩となっている「こうのす花火大会」は、鴻巣市商工会青年部が主催しています。行政主導の花火大会が多いなか、青年部員たちが主体となって運営するのは異例なこと。「鴻巣を盛り上げたい」との熱い思いからスタートした、鴻巣市民による鴻巣市民のための手作り花火大会です。

平成23年に行われた第10回大会の「鳳凰乱舞(おおとりらんぶ)」では、約4分間に尺玉300発、正三尺玉2発、計302発の打ち上げに成功しました。この記録は、1分間平均で約75・5発となり、日本一に認定されました。

世界一の大玉「正四尺玉」打ち上げ成功!

「こうのす花火大会」は毎年10月、荒川河川敷の会場で行われます。平成25年の第12回大会では、世界一の大玉となる「正四尺玉」の打ち上げに成功しました。これは、川幅日本一だからこそ打ち上げられる大輪の花といえます。市民を笑顔にする花火大会は、鴻巣の自慢です。

こうのとり伝説がテーマ
鴻巣おおとりまつり

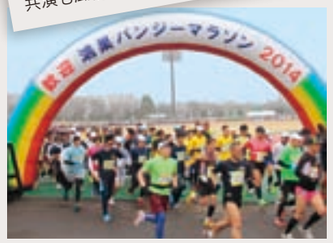
中山道を中心に催される秋のまつりで、「こうのとり伝説」をテーマにしたパレードや地元とび職人によるはしご乗り、各団体の民謡踊りなどが行われます。屋台のお囃子共演も風情たっぷりです。

みこしと山車が練り歩く
吹上夏まつり

伝統ある吹上神社の祇園祭です。以前は、上組と下組のみこしが音を立ててぶつかり合う喧嘩みこしとしても名をはせました。現在は、上組と下組に分かれたみこし渡御を中心に7月下旬の2日間盛り上がります。

12基のみこしが迫力満点
鴻巣夏まつり

100年以上の歴史を誇る伝統行事です。7月中旬の3日間、中山道を中心に繰り広げられます。歩行者天国となる日曜日には、12基の勇壮なみこしが、約3キロにわたって練り歩きます。



全国からランナーが集う
鴻巣パンジーマラソン

鴻巣に春の訪れを告げるマラソン大会です。川里地域をコースとするハーフマラソンのほか、親子で参加できる1キロコースなど4種類の距離設定があり、全国から多くのランナーが集まります。

楽しいイベント満載
かわさとフェスティバル

川里地域の秋まつりです。ミニSLやふれあい動物コーナーが体験できるほか、市民団体によるご当地グルメや各種ゲームなどの模擬店、花や農産物の販売、フリーマーケットなど多彩なイベントが行われます。

Hometown festivals creating emotional ties with other people

In the city, you can enjoy many different kinds of unique events which are led by the citizens in all seasons, such as fireworks displays, local traditional ceremonies and many other types of community events.

The Konosu Fireworks Display, a traditional seasonal sight displayed in the autumn night sky, succeeded in letting off a total of 302 fireworks, including 300 No. 10 balls and two No. 30 balls for about four minutes. In other words, the show delivered an average of about 75.5 fireworks per minute, and this figure was recorded as the largest number of fireworks per minute ever launched into the Japanese sky. The show also successfully released a No. 40 ball, the biggest ball in the world.

歴史を誇る伝統行事

時を越えて
豊かに息づく伝統行事は、
鴻巣市民の宝物です。

五穀豊穣を願う 原馬室の獅子舞・棒術

竹を細く割って作った「ささら」をすり合わせるリズムと笛の音に合わせて踊る獅子舞です。７月の祈祷ささらと８月の祭典ささらがあり、祭典ささらは棒術の演技を交えて奉納されます。県無形民俗文化財に指定されています。

地元の女子児童による神前神楽 鎌塚八幡神社の巫女の舞

台風により倒壊した社殿再建を記念し、昭和46年の遷宮式で浦安の舞の指導者を招いて奉納したのが始まり。毎年９月14日の例大祭で、鎌塚在住の小学４年生の女子児童により奉納されています。

日枝神社の伝統芸能 小谷のささら獅子舞

五穀豊穣を祈願する伝統芸能です。獅子踊りに入る前の、さまざまな所作や棒術、寸劇、かけ声などはよく型を伝えており、とても貴重です。

鷺栖神社の伝統芸能 広田のささら

頭に龍頭をかぶって舞う獅子舞で、別名「龍頭舞」といいます。龍頭舞の前に子どもたちによる「花棒」と呼ばれる棒使いが奉納されるのが特徴です。

大蛇退治の故事に由来 滝馬室氷川神社の的祭

約1,200年前の征夷大将軍･坂上田村麻呂の大蛇退治にちなむ行事です。毎年１月12日に、12歳になる児童が蛇の目に見立てた的に弓を引き、五穀豊穣や招福息災を祈念します。

「心をつなぐふるさとのまつり」を支える市民の力

市民の心の中に育まれている、
ふるさと鴻巣への熱い思い。
その思いが心に残るまつりを作っています。

大きな花火を打ち上げて、鴻巣を盛り上げていきたい。

鴻巣市商工会青年部 部長　陸田学（りくたまなぶ）さん

「地域の振興・発展と子どもたちに夢と希望を与えたい」と願い実施している手作りの花火大会です。企画運営から設置、撤収作業、清掃に至るまですべてを約50人の青年部員が中心となり行っています。平成25年には正四尺玉という世界一の大玉打ち上げに成功しました。こうした挑戦ができるのも、多くの市民の方々の協力のお陰です。今後も、子どもたちにとって自慢の花火大会になるよう、頑張っていきたいと思います。

Power of the citizens supports hometown festivals creating emotional ties with other people

The citizens share a passion for Konosu City, their hometown. They have held this passion dear to their heart for so long. It is the citizens' passion that has become a driving force and played a crucial role in creating fantastic festivals and traditional events, which will remain in people's hearts, as well as the fireworks displays which the citizens are so proud of.

500回目の開催を目指して、440年の伝統を子どもたちに伝えています。

原馬室獅子舞棒術保存会 会長　金子輝三（かねこてるみ）さん

月に一度、小学４年生から80代までのメンバーが集まり、竹を細く割って作った「ささら」をすり合わせて踊る獅子舞と、木刀、六尺棒、太刀を使った棒術を伝承しています。440年続いている伝統芸能が小さな子どもたちに受け継がれているのはうれしいですね。保存会の願いは、その子どもたちが次の世代に伝え、500回目の獅子舞・棒術の開催が実現することです。

鴻巣の名前の由来になったといわれる、「こうのとり伝説」を伝えたい。

こうのとり伝説パレード実行委員会 委員長　清水陽介（しみずようすけ）さん

鴻巣おおとりまつりのオープニングを飾るのが、「こうのとり伝説パレード」です。10メートルに及ぶ大蛇とつがいのコウノトリが登場し、パフォーマンスをしながら、中山道を練り歩きます。先頭を歩くのは、コウノトリの卵を乗せた山車を引っ張る子どもたちです。パレードを通して、子どもたちに鴻巣の名前の由来である「こうのとり伝説」を伝えられたら、うれしいですね。

宮登神社の伝統芸能 登戸のささら獅子舞

３匹の獅子が女獅子をとりあって仲直りするという勇壮な舞です。2005年、地元有志らによる保存会が発足し、1959年から途絶えていた獅子舞が復活しました。

大芦地区の伝統芸能 大芦のささら獅子舞

無病息災と五穀豊穣、さらに、国家安泰を祈りながら、今日まで受け継がれてきたとされる獅子舞です。太鼓、笛、ささらなどの伴奏で、３匹の獅子が舞い踊ります。

関東三大十夜のひとつ 勝願寺のお十夜

勝願寺で十日十夜を期して行われる念仏会のことで、十夜法要といいます。11月13～15日に行われる関東三大十夜のひとつです。

商売繁盛を祈願する 鴻神社の酉の市

12月４日に鴻神社境内で行われる師走恒例の行事です。大小さまざまな熊手が売られ、威勢のいいかけ声と景気のいい手締めの音が鳴り響きます。

日本一の花畑の向こうに中心市街地が広がる

鴻巣エリア

昭和29年の誕生から
60年を経た鴻巣市。
12万市民のふるさとの“今”を
空から眺めてみましょう。

特集Ⅱ 空から見る60 市制施行60周年記念 年目の鴻巣市

鴻巣エリアは、「花と人形のまち鴻巣」のシンボルの一つ、日本一広いポピー畑越しに市街地が広がる鴻巣市の中心地です。ポピー畑のある荒川の河川敷は川幅日本一としても知られ、御成橋で対岸と結ばれています。市街地にはＪＲ高崎線、中山道、国道17号線が並行して走り、鴻巣駅を中心に商業施設や公共施設が集まっています。空から眺めると、水と緑の豊かな自然と、便利で快適な都市空間が共存していることがよくわかります。

City center stretching beyond the largest field of flowers in Japan

Konosu area

The Konosu area is located in the heart of Konosu City, stretching beyond Japan's largest field of poppies, one of the symbols of Konosu, a city of flowers and dolls. The fields of poppies lie along the dry riverbeds of the Arakawa River, which is also known as the widest river in Japan, and is connected with the opposite shore by the Onari-bashi Bridge. JR Takasaki Line, the Old Nakasendo highway and Route 17 run through the city center in parallel. Commercial facilities and public facilities are centered around Konosu Station.

今 12万市民とともに進めるまちづくりの中心 鴻巣市役所

昭和49年に開庁した市役所本庁舎。現在、本庁舎の敷地内には、防災活動拠点としての機能を有する別棟を建設中です。

昔

本町３丁目にあった庁舎です。昭和33年に庁舎を増築するまで、市議会は東小学校の講堂を議場として使用していました。

今 昔も今も鴻巣のメインストリート 中山道

ひな人形の特産地として江戸時代から栄えた鴻巣宿の面影を、今も残しています。

昔

市制施行当時の中山道。今と同じように商店が軒を連ねていますが、自転車が主要交通だったため、道幅が広く見えます。

今 川幅日本一の荒川に架かる橋 御成橋

昭和40年に架けられた現在の橋は４代目。橋長804.8m、幅員7.0m。左岸河川敷には栽培面積日本一のポピー畑が広がっています。

初代御成橋は明治33年に開通しました。明治37年頃には、幅５メートルの木造吊り橋の御成橋が完成。大正７年まで使用されました。

昔

今 農業の試験場から運転免許の試験場へ 埼玉県警運転免許センター

平成元年に大宮市（現・さいたま市西区）から移転した埼玉県警の施設です。鴻巣駅から免許センターに至る県道136号はけやき通りとも呼ばれています。

旧農林水産省農事試験場は、大正12年に鴻巣試験地として設立され、全国の農事試験場に対して指導的立場にありました。

昔

昔 明治16年の高崎線開業当初から設置された駅

です。写真は昭和29年の市制施行前後のもので、駅名表示は「鴻ノ巣」となっていました。

平成19年に東口駅前広場が完成し、駅前はショッピングモールや映画館などのある活気あふれる空間に生まれ変わりました。

今 JR鴻巣駅 1日平均約2万人が乗車する市の玄関口

吹上エリア

JR吹上駅を中心に荒川の景色も魅力

今 桜の名所としても有名 元荒川

春になると500本を超える桜が水面を飾ります。「一度は見に行きたい日本の桜名所＆名桜600景」にも数えられます。

昔

水遊びや魚つりをする子どもたちでにぎわいました。

今 地域住民の最寄り駅 JR吹上駅

1日平均約1万人が乗車する駅。北口は、平成21年に駅前広場が完成し、利便性が向上しました。

昔

明治18年に開業した駅。昭和56年には橋上駅舎に改築されました。※

今 125年の歴史がある小学校 吹上小学校

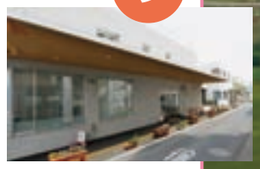
77年の歴史を持つ木造校舎の使用は、平成26年度まで。現在、新校舎を建設しています。

昔

昭和11年、現在地に完成した吹上小学校。校舎は当時県下でも最先端をゆく優れたものだとたたえられました。写真は落成記念に撮影されたものです。※

今も昔も吹上地域の中心 吹上支所

今



吹上複合施設として整備され、支所は平成25年3月、吹上図書館は7月に新しく生まれ変わりました。

昔

明治以来、転々と移動した吹上町役場は、大正15年に現在地へ新築移転しました。写真は昭和30年頃のものです。※

昔

昭和初期に「大芦の渡し」に木造の冠水橋が架けられました。その後も度々洪水で流失していましたが、昭和54年に永久橋が竣工しました。※

今 大芦橋

荒川と和田吉野川を渡る県道66号行田東松山線の橋です。下流に日本一の長さを誇る荒川水管橋があります。

春はポピー、秋はコスモスが見事な広い河川敷

※の写真は、
ふるさとの想い出写真集 明治大正昭和 吹上（発行・国書刊行会）より転載

市の北西部の吹上エリアも、荒川や元荒川沿いの水辺の景観が素晴らしい場所です。日本一長い水管橋のたもとには、サッカー場やパークゴルフ場などがあり、春はポピー、秋はコスモスで一帯が彩られます。ＪＲ吹上駅を中心に公共施設や住宅地が広がり、2.5kmにわたる桜並木と句碑で知られる元荒川には、日本の近代土木遺産に選定された橋梁群が架かります。石田堤や板碑など史跡も多く、歴史と文化に触れられるエリアです。

JR Fukiage Station and Attractive landscape of the Arakawa River

Fukiage area

The Fukiage area in the northwest of the city also offers beautiful landscapes, including the riverside along the Arakawa River and the Motoarakawa River. There is a soccer ground and a park golf course beside Japan's longest water pipe bridge, and its surrounding area is covered with cosmos flowers in autumn. JR Fukiage Station is surrounded by public facilities and residential areas. You can see many bridges that represent the heritage of modern civil structures over the Motoarakawa River, which is lined with famous 2.5-kilometer-long rows of cherry blossom trees and stone tablets inscribed with a haiku poem.

広々としたのどかな田園地帯

川里エリア

市の北東部の川里エリアは、稲作と花き栽培が盛んで、のどかな田園風景の中に、屋敷林に囲まれた人家や施設園芸のハウスが点在しています。区画の整った耕作地がパッチワークのような美しさを見せ、弁天池や見沼代用水、野通川などの水辺の自然にも四季折々の彩りがあります。また、公共施設の集まったふるさと館や、平成26年にオープンしたかわさと館があり、行田市と接する赤城台には川里工業団地が広がっています。

Vast and tranquil countryside

Kawasato area

The Kawasato area in the northeastern part of the city is an area richly cultivated with rice and flowers. The plots are beautifully developed like a patchwork. The waterfront areas around Benten Pond and the Minumadai Irrigational Canal also show their natural beauty throughout the seasons. In the heart of the Kawasato area, there are two halls which contain a number of public facilities: the Furusato (hometown) Hall and the Kawasato Hall. The latter just opened in 2014. The Kawasato Industrial Estate spreads through a wide area of Akagidai, which is adjacent to Gyoda City.

川里地域の行政拠点
かわさと館（川里支所）

今

平成26年1月にオープンしました。川里支所のほか、川里生涯学習センター、川里児童センターが併設されています。

昔

昭和29年、屈巣村・広田村・共和村の3村の合併による「川里村」が誕生。役場は旧共和村役場が充てられました。写真は合併当時のものです。

自然豊かな地域の学校
川里中学校

今

平成16年に完成した校舎です。川里中学校では平成23年度から、学区内3小学校とともに小中一貫教育の研究・実践に取り組んでいます。

昔

昭和35～36年にかけて、広田中学校、共和中学校、屈巣中学校が川里中学校に統合されました。写真は昭和38年に完成した川里中学校校舎です。

昔

昭和40年の屈巣小学校での卒業式の様子です。

今

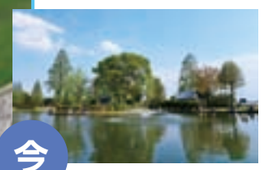
明治14年に開校された伝統ある小学校。昭和56年に建てられた校舎です。

屈巣小学校
133年の歴史を持つ小学校

昔

江戸時代に掘り上げ田として開発された屈巣沼では、排水路を兼ねた水路・堀割を利用して早くから漁業が行われていました。

今



昭和51年から屈巣沼の開発が始まり、ゴルフ場や川里中央公園などに整備されました。屈巣沼の一部は弁天池として、川里中央公園内にあります。

弁天池
釣り人に愛されている憩いの池

昔

バラをこよなく愛したという、故青木正久氏の家屋敷です。遺族から川里町に寄贈され、観光施設として生まれ変わりました。

今

長屋門や母屋、離れなど旧家のたたずまいを活かした施設です。バラなど季節の草花が咲く庭園のほか、コンサートも行えるサロン、食事処などがあります。

花と音楽の館かわさと　花久の里

鴻巣市市制施行記念秋祭り（昭和29年）
町内会ごとに屋台をひき、お囃子や踊りが披露されました。

特集Ⅲ 鴻巣市60年のあゆみ 市制施行60周年記念

鴻巣市、誕生。

昭和29年9月、県下17番目の市として鴻巣市が誕生しました。

昭和29年7月、鴻巣町・箕田村・田間宮村・馬室村・笠原村の1町4村が合併、その後9月に常光村が合併して市制を施行し、鴻巣市が誕生しました。同時に、吹上町は小谷村と合併、翌年9月に太井村大字北新宿を編入、10月には下忍村と合併しました。一方、川里町は29年3月に屈巣村・広田村・共和村の3村が合併して誕生しています。

合併や編入で新しく誕生した各市町は、それぞれ住民の融合と各地区の均衡ある発展を図るため、公共施設や生活環境の整備に力を注ぎました。

川里村役場（昭和29年）
屈巣村、広田村、共和村の3村が合併し、川里村が誕生。

鴻巣市庁舎（昭和29年）
当時は本町3丁目にあった。2階建てのモダンな建物が特徴。

吹上町役場（昭和30年）※

Birth of Konosu City

In July 1954, there was a merger between one town (Konosu Town) and four villages (Mida Village, Tamamiya Village, Mamuro Village and Kasahara Village). In September that year, Konosu City was created and the city administration began, after it was municipalized through a merger with Joko Village. At the same time, the town formerly known as Fukiage Town merged with Koya Village. In September 1955, Oaza Kita-shinshuku in Oi Village was integrated into the town, and in October, the town merged with Shimooshi Village. In the meantime, the town formerly known as Kawasato Town was created in March 1954, when there was a merger of three villages (Kusu Village, Hirota Village and Kyowa Village).

1954〜1965

昭和29年〜昭和40年

As you can see from the famous phrase, "We no longer live in the post-war era," in the 1956 White Paper on Economics, Japan achieved remarkable recovery and took the first step into its period of high economic growth. Japan was more energetic than ever throughout this rapid growth period. In 1964, for example, the Tokaido Shinkansen and the Tomei Expressway were officially opened, and the Summer Olympic Games were held in Tokyo.

このころの社会の動き

昭和31年の経済白書に「もはや戦後ではない」とうたわれるなど、日本は著しい復興を遂げ、高度経済成長が始まった年代です。昭和39年には東海道新幹線や東名高速道路の開通、東京オリンピック開催など、右肩上がりの急成長で活力が満ちていました。

鴻巣市市制施行10周年記念式典（昭和39年）

吹上町合併10周年記念（昭和40年）※

聖火リレー（昭和39年）
東京オリンピックに先立って行われた聖火リレー。アテネから運ばれた火が鴻巣市と吹上町を通過しました。

鴻巣市のあゆみ

昭和29年 7月	鴻巣町・箕田村・田間宮村・馬室村・笠原村が合併
9月	常光村との合併により市制施行
昭和30年 2月	鴻巣市政だより第1号発行
6月	糠田冠水橋完成
昭和31年	
昭和32年 4月	競艇開催権を県より譲渡
昭和33年 2月	市役所庁舎増築（税務・議場）
昭和34年	
昭和35年 10月	商工会設立
昭和36年 5月	笠原簡易水道給水開始
12月	鴻巣中学校、鴻巣南小学校新校舎完成
昭和37年 3月	国道17号大宮バイパス完成
6月	鴻巣警察署新庁舎完成
7月	鴻巣保健所開設
12月	上水道給水開始
昭和38年 5月	母子健康センター設置
8月	図書館設置
10月	市営ガス事業所完成、供給開始
公民館箕田分館完成	
昭和39年 4月	常備消防本部設置
7月	皇太子殿下農事試験場視察
10月	東京オリンピック聖火リレー通過
11月	馬室小学校新校舎完成
昭和40年 3月	武蔵水路完成
6月	鴻巣給食センター開業
10月	荒川御成橋永久橋完成

吹上町のあゆみ

7月	小谷村と合併
9月	太井村大字北新宿を編入
10月	下忍村と合併
4月	大字下忍の一部、大字堤根、大字樋上を行田市に分離
8月	町立保育園開園
3月	広報ふきあげ第1号発行
6月	町全域都市計画指定される
10月	吹上中学校統合設置
6月	小谷小学校新校舎完成
11月	吹上中学校新校舎完成
7月	商工会設立
12月	足立北部土地改良区県営事業鍬入式挙行
4月	町火葬場を廃止
10月	東京オリンピック聖火リレー通過
12月	国道17号吹上バイパス開通
3月	武蔵水路完成

川里町のあゆみ

3月	屈巣村・広田村・共和村が合併し、川里村が誕生
8月	共和簡易水道給水開始
4月	有線放送開始
9月	屈巣保育所開設
10月	広田保育所開設
4月	広田中学校、共和中学校を廃止し、川里中学校を設置
4月	屈巣中学校を廃止し、川里中学校に統合
3月	川里中学校校舎完成
4月	共和保育所開設
商工会設立	
5月	屈巣簡易水道給水開始
4月	学校給食開始

1966〜1988

昭和41年〜昭和63年

Japan was considered to be a miracle of the East, ranking second in gross national product among capitalist states in 1968. In the meantime, the country became increasingly exposed to growing negative pressures from its high growth, such as pollution problems and depopulation or overpopulation issues. It is around this period of time when Former Prime Minister Kakuei Tanaka launched his signature reform known as the Plan for Remodeling the Japanese Archipelago.

鴻巣市消防署庁舎完成（昭和41年）

川里村役場新庁舎（昭和44年）
鉄筋コンクリート３階建て。当時としては画期的な設備を備えた近代的な建物は、村内外から注目を集めました。

吹上町役場新庁舎（昭和43年）※
鉄筋３階建て。当時としては、モダンな建築の庁舎で、見学者が多く訪れました。

吹上駅前通り（昭和48年）※

このころの社会の動き

昭和43年には国民総生産が資本主義国家の中で第２位となり、東洋の奇跡ともいわれた日本ですが、一方で公害問題や過疎・過密問題など、高度成長のひずみも大きくなってきました。田中角栄首相が「日本列島改造論」を提唱したのもこの年代です。

鴻巣市市制施行20周年記念式典（昭和49年）
鴻巣市市制施行20周年と新庁舎落成を記念し、市内はにぎわいました。

鴻巣市立図書館新築（昭和53年）

鴻巣市民センター開設（昭和61年）

鴻巣市民プールオープン（昭和51年）

北鴻巣駅開業（昭和59年）

年	鴻巣市のあゆみ	吹上町のあゆみ	川里町のあゆみ
昭和41年	3月 鴻巣女子高校開校 9月 市消防署庁舎完成	9月 台風26号の被害により災害救助法適用 12月 町立病院閉鎖	
昭和42年	10月 消防署で救急業務開始	7月 上水道給水開始	
昭和43年	4月 市民交通傷害保険制度実施	9月 町役場新庁舎に移転 町章を制定	
昭和44年	2月 都市計画用途地域指定	4月 町村交通災害共済制度発足	3月 村役場新庁舎に移転
昭和45年	5月 公民館田間宮分館完成 6月 市立体育館完成 8月 市ガスの熱量変更実施 11月 駅構内跨線橋完成 12月 新御成橋開通（鴻中陸橋）	9月 老人いこいの家開設	4月 屈巣・共和農民センター完成 5月 広報かわさと第1号発行
昭和46年	3月 市民会館完成 公民館馬室分館完成 5月 鴻巣保育所新築移転	12月 北新宿土地区画整理事業着手	4月 村議会議員選挙区の改正のため、全村を1区とする
昭和47年	4月 鴻巣北小学校開校		3月 北部集会所完成
昭和48年	4月 特別養護老人ホームたんぽぽ荘開設 5月 公民館笠原分館完成 12月 市営ガス球型ガスホルダー新設	10月 総合運動場完成	4月 いこいの家完成
昭和49年	1月 駅東通線一部開通 4月 鴻巣北中学校開校 上谷運動公園開設 馬室保育所開設 箕田浄水場完成 5月 市庁舎新築移転 11月 市の花「パンジー」を制定	5月 吹上駅跨線人道橋完成	
昭和50年	4月 鴻巣集会所設置 5月 知的障害児通園施設つつみ学園開設 9月 勤労青少年ホーム・中央公民館開設	2月 吹上集会所完成 3月 鎌塚保育所完成	
昭和51年	4月 松原小学校開校 生出塚保育所開設 鴻巣地区消防組合業務開始 7月 市民プール開設	4月 鴻巣地区消防組合業務開始 6月 第２浄水場完成	3月 創作館完成 4月 鴻巣地区消防組合業務開始 9月 中央公園野球場完成
昭和52年		3月 鴻巣地区消防組合吹上分署 完成 北新宿土地区画整理事業 完了	3月 広田保育所新築移転
昭和53年	6月 市立図書館新築移転	6月 老人福祉センター開館 7月 中央公民館開館	3月 屈巣保育所新築移転 4月 広田簡易水道給水開始
昭和54年	5月 鴻巣児童センター開設	1月 県消防学校開校	3月 共和保育所新築移転
昭和55年	4月 鴻巣西中学校開校 富士見保育所開設 5月 勤労者体育センター新設 老人福祉センター白雲荘新設	4月 吹上高等学校開校 大芦橋開通 5月 勤労青少年ホーム開館	3月 鴻巣地区消防組合川里分署完成 10月 共和簡易水道を廃止し、川里村簡易水道となる
昭和56年	3月 鴻巣市都市総合交通規制実施 5月 保健センター・夜間診療所新設 7月 公共下水道供用開始	3月 下忍汚水中継ポンプ場完成 4月 大芦小学校開校 公共下水道供用開始 6月 町民プール開設 9月 町営住宅完成 10月 吹上駅橋上化供用開始	3月 屈巣小学校新校舎完成 7月 赤城遺跡調査開始
昭和57年	4月 赤見台第一小学校開校 5月 総合体育館新設 6月 鴻巣駅橋上化供用開始	3月 富士見保育所完成	2月 広田小学校新校舎完成
昭和58年	5月 コミュニティふれあいセンター新設 10月 青少年健全育成都市宣言	4月 吹上北中学校開校	5月 農業研修センター完成
昭和59年	4月 鴻巣南中学校開校 11月 北鴻巣駅開業 市の木「けやき」、市のシンボルカラー「濃い青色」を制定	5月 町民体育館開館 7月 県営水道導入 11月 郷土資料館開館 12月 富士見ゲートボール場完成	2月 共和小学校新校舎完成 4月 川里村簡易水道と屈巣簡易水道を統合、上水道となる
昭和60年		7月 町立図書館開館 10月 「教育の町・吹上」宣言 町民憲章、町の花「コスモス」、町の木「もくせい」を制定	10月 中央公園多目的グラウンド完成
昭和61年	3月 鴻巣地区消防組合鴻巣西分署開設 4月 赤見台中学校開校 5月 市民センター開設	1月 埼玉の自然百選に「元荒川の桜」選出 4月 保健センター開設	3月 川里中学校新校舎完成 騎西・川里学校給食センター完成
昭和62年	4月 赤見台第二小学校開校 5月 本町コミュニティセンター開設 交通安全都市宣言 7月 非核平和都市宣言 埼玉県運転免許センター一部開設	9月 コミュニティセンター開設 非核平和都市宣言	
昭和63年	5月 箕田公民館開設 箕田児童センター開設	4月 防災行政無線施設運用開始	10月 村章、村民憲章、村の花「ひまわり」、村の木「もくせい」を制定

1989～2005.9

平成元年～平成17年９月

The Japanese economy went through turbulent times. It had experienced a long low-growth period, before it enjoyed an economic bubble at the beginning of the Heisei period (around 1990). Then, it faced the Heisei Recession due to a subsequent economic downturn. At a local level, hometown revitalization projects were undertaken across the country. At a national level, there was the privatization of the Japanese National Railways and public corporations, the introduction of consumption tax, establishment of the nursing insurance system and other reforms.

このころの社会の動き

日本経済は長い低成長時代を経て、平成初頭にはバブル景気、その後の景気後退による平成不況と乱高下した年代です。ふるさと創生など各地で地域おこしが盛んになり、国鉄や公社の民営化、消費税の導入、介護保険の制度化等が行われました。

コスモスアリーナふきあげオープン（平成15年）

鴻巣市・川里町・吹上町合併協定調印式（平成17年）

川里町制施行記念（平成13年）
県内39番目の町として、川里町が誕生。記念にタイムカプセルが埋設されました。

鴻巣市文化センター「クレアこうのす」オープン（平成12年）

川里ふるさと館完成（平成５年）
図書館、郷土資料館、老人福祉センター、コミュニティセンターなどの複合施設。独特の建築様式が特徴。

川里工業団地完成（平成２年）
区画道路や公園緑地の築造、水路の改修などを行い、造成後は「赤城台」という地名になりました。

鴻巣市陸上競技場オープン（平成５年）

鴻巣市のあゆみ

- 平成元年 10月 埼玉県運転免許センター全面開設
- 1月 あたこセンター開設
- 5月 さきたま緑道開通
- 平成２年 4月 中学校給食センター開設
- 平成３年 10月 鴻巣市花卉園芸組合が国際花博覧会へ出展
- 4月 市役所第2、第4土曜日閉庁
- 資源回収事業開始
- 平成４年 4月 市の花「パンジー」をオランダフロリアート'92へ出展し、銅賞受賞
- 11月 馬室キャンプ体験広場開設
- 12月 鴻巣市施設管理公社設立
- 11月 滝馬室区画整理地内の名称が氷川町に変更
- 平成５年 4月 都市計画生産緑地決定
- 5月 情報公開条例、個人情報保護条例制定
- 10月 デイサービスセンター開設
- 9月 常光公民館改築・児童センター併設
- 11月 陸上競技場開設
- 平成６年 4月 スポーツ都市宣言
- 6月 市長への手紙実施
- 10月 オンブズマン制度発足
- 9月 テレホンガイドこうのすサービス開始
- 平成７年 2月 鴻巣中央小学校開校
- 4月 鴻巣市、桶川市、北本市、吹上町、川里村で公共施設の相互利用開始
- 4月 市のシンボルマーク制定
- 5月 自転車等放置防止条例制定
- 10月 人権尊重都市宣言
- 平成８年 4月 デイサービスセンター開館
- 6月 せせらぎ公園開園
- 8月 総合福祉センター開設
- 笠原公民館改築・児童センター併設
- 鴻巣駅連絡所開設
- 平成９年 2月 都市計画新用途地域決定
- 4月 埼玉県央広域消防本部業務開始
- 7月 訪問看護ステーション開設
- 11月 福祉施設送迎バス運行開始
- 平成10年 4月 パーキングこうのす設置
- 平成11年 4月 市営駐車場（鴻巣駅西口）設置
- 8月 テレホンガイドこうのすＦＡＸ情報サービス開始
- 平成12年 4月 生涯学習指導者人材バンク登録制度開始
- 10月 環境基本条例施行
- 平成13年 5月 市役所第2庁舎へ教育委員会事務局移転
- 9月 図書館、公民館図書室オンライン化開始
- 平成14年 1月 鴻巣市・川里町広域循環バス「フラワー号」運行開始
- 2月 ISO14001登録証取得
- 4月 市営ガスを都市ガスに譲渡
- 12月 鴻巣フラワーセンター開設
- 9月 まちづくりビジョン会議設置
- 平成15年 1月 「ラジオ広報こうのす」放送開始
- 2月 クレアこうのす「2002年彩の国さいたま景観賞」受賞
- 9月 教育市民会議設置
- 6月 市の窓口業務一部土曜開庁実施（試行）
- 3月 鴻巣市・川里町合併協議会設立
- 平成16年 4月 鴻巣市観光協会設立
- 2月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協議会設立
- 7月 市のメインキャラクター「ひなちゃん」誕生
- 8月 フラワースタジアム完成
- 9月 特別養護老人ホームたんぽぽ荘民営化
- 12月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協定調印式
- 平成17年 4月 ふるさと総合緑道　竹林公園開園
- 1月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協定調印式
- 4月 元気包農園開設
- 9月 閉町式典挙行

吹上町のあゆみ

- 平成元年 10月 さきたま緑道開通
- 平成２年 4月 中学校給食センター開設
- 平成３年 10月 鴻巣市花卉園芸組合が国際花博覧会へ出展
- 4月 市役所第2、第4土曜日閉庁
- 資源回収事業開始
- 平成４年 4月 市の花「パンジー」をオランダフロリアート'92へ出展し、銅賞受賞
- 11月 馬室キャンプ体験広場開設
- 12月 鴻巣市施設管理公社設立
- 11月 滝馬室区画整理地内の名称が氷川町に変更
- 平成５年 4月 都市計画生産緑地決定
- 5月 情報公開条例、個人情報保護条例制定
- 10月 デイサービスセンター開設
- 9月 常光公民館改築・児童センター併設
- 11月 陸上競技場開設
- 平成６年 4月 スポーツ都市宣言
- 6月 市長への手紙実施
- 10月 オンブズマン制度発足
- 9月 テレホンガイドこうのすサービス開始
- 平成７年 2月 鴻巣中央小学校開校
- 4月 鴻巣市、桶川市、北本市、吹上町、川里村で公共施設の相互利用開始
- 4月 市のシンボルマーク制定
- 5月 自転車等放置防止条例制定
- 10月 人権尊重都市宣言
- 平成８年 4月 デイサービスセンター開館
- 6月 せせらぎ公園開園
- 8月 総合福祉センター開設
- 笠原公民館改築・児童センター併設
- 鴻巣駅連絡所開設
- 平成９年 2月 都市計画新用途地域決定
- 4月 埼玉県央広域消防本部業務開始
- 7月 訪問看護ステーション開設
- 11月 福祉施設送迎バス運行開始
- 平成10年 4月 パーキングこうのす設置
- 平成11年 4月 市営駐車場（鴻巣駅西口）設置
- 8月 テレホンガイドこうのすＦＡＸ情報サービス開始
- 平成12年 4月 生涯学習指導者人材バンク登録制度開始
- 10月 環境基本条例施行
- 平成13年 5月 市役所第2庁舎へ教育委員会事務局移転
- 9月 図書館、公民館図書室オンライン化開始
- 平成14年 1月 鴻巣市・川里町広域循環バス「フラワー号」運行開始
- 2月 ISO14001登録証取得
- 4月 市営ガスを都市ガスに譲渡
- 12月 鴻巣フラワーセンター開設
- 9月 まちづくりビジョン会議設置
- 平成15年 1月 「ラジオ広報こうのす」放送開始
- 2月 クレアこうのす「2002年彩の国さいたま景観賞」受賞
- 9月 教育市民会議設置
- 6月 市の窓口業務一部土曜開庁実施（試行）
- 3月 鴻巣市・川里町合併協議会設立
- 平成16年 4月 鴻巣市観光協会設立
- 2月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協議会設立
- 7月 市のメインキャラクター「ひなちゃん」誕生
- 8月 フラワースタジアム完成
- 9月 特別養護老人ホームたんぽぽ荘民営化
- 12月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協定調印式
- 平成17年 4月 ふるさと総合緑道　竹林公園開園
- 1月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協定調印式
- 4月 元気包農園開設
- 9月 閉町式典挙行

- 平成２年 3月 さくら橋・鎌塚イベント広場・本町せせらぎ公園完成
- 平成４年 1月 小谷小学校新校舎完成
- 3月 町役場第2庁舎完成
- 平成５年 8月 榛名通線立体交差開通
- 平成６年 3月 水辺公園完成
- 6月 福島県金山町と友好都市提携
- 9月 町イメージマーク・キャッチフレーズ決定
- 12月 人権尊重都市宣言
- 平成７年 4月 榎戸堰公園完成
- 6月 デイサービスセンター開館
- 鴻巣市、桶川市、北本市、吹上町、川里村で公共施設の相互利用開始
- 10月 町長への手紙実施
- 平成８年 3月 荒川パノラマ公園第1期工事完成
- 10月 「いい風ふきあげコスモスサミット96」開催
- 平成９年 3月 羽生市・福島県金山町と災害時相互応援協定締結
- 榛名通線全線開通
- 平成10年 4月 県央みずほ斎場業務開始
- 平成11年 3月 荒川パノラマ公園第2期工事完成
- 4月 石田堤史跡公園完成
- 平成12年 12月 北新宿第二土地区画整理事業着手
- 平成14年 4月 ふれあいセンターオープン
- 11月 荒川総合運動公園パークゴルフ場オープン
- 平成15年 1月 市町村合併町民アンケート実施
- 2月 コスモスアリーナふきあげオープン
- 7月 行田市・羽生市・吹上町・南河原村合併協議会設立
- 平成16年 4月 コスモス・健康・スポーツ都市宣言
- 町長選・町議選・合併住民投票を同日実施
- 7月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協議会設立
- 平成17年 1月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協定調印式
- 4月 元気包農園開設
- 9月 閉町式典挙行

川里町のあゆみ

- 平成３年 3月 川里工業団地完成
- 平成６年 4月 福祉作業所ポプラ館完成
- 6月 鴻巣市、桶川市、北本市、吹上町、川里村で公共施設の相互利用開始
- 12月 図書館・郷土資料館・老人福祉センター・ひまわり荘・コミュニティセンター・保健センター開館
- 平成７年 1月 舟塚古墳発見
- 4月 農業情報連絡施設（防災無線）稼動
- 平成９年 4月 県央みずほ斎場業務開始
- 平成11年 6月 届巣沼の古代蓮発見
- 11月 境地内で不発弾等処理作業実施
- 平成12年 10月 農業集落排水事業開始（上会下地区）
- ふれあい公園開園
- 平成13年 5月 町制施行
- 平成14年 7月 鴻巣市・川里町広域循環バス「フラワー号」運行開始
- 4月 ひまわり保育園開園
- 子育て支援センター開設
- 平成15年 9月 鴻巣市・川里町合併協議会設立
- 平成16年 7月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協議会設立
- 平成17年 1月 鴻巣市・川里町・吹上町合併協定調印式
- 9月 閉町式典挙行

2005.10～2014

平成17年10月～平成26年

一市二町が合併し、新しい鴻巣市へ。

平成17年10月1日、新『鴻巣市』誕生。

地方分権型の地域経営確立が迫られる中、少子高齢化、日常生活圏の拡大、高度・多様化する住民ニーズ、厳しい財政状況への対応などの必要性から、平成16年7月、鴻巣市・川里町・吹上町合併協議会が設置されました。

そして平成17年10月1日、1市2町の合併が成立し、12万都市の新「鴻巣市」として生まれ変わったのです。新市のまちづくりに際しては、15年後の平成32年を計画期間とする新市建設計画が立てられ、各エリアの均衡を図りながら順調に事業が進められています。

新「鴻巣市」誕生（平成17年）
クレアこうのすで鴻巣市・吹上町・川里町合併記念式典が行われました。

鴻巣市のあゆみ

平成17年
- 10月 鴻巣市、吹上町、川里町が合併し「鴻巣市」誕生

平成18年
- 4月 子どもの医療費支給（入院・通院）が中学3年生まで拡大
- 上谷総合公園西側工事が完成
- 福島県金山町と友好都市宣言
- ふるさと総合緑道休憩施設「愛里巣」オープン
- ファミリー・サポート・センター事業市内全域でスタート
- 10月 市のシンボルマーク制定
- 11月 電子申請・届出サービスを開始

平成19年
- 5月 花と音楽の館かわさと「花久の里」オープン
- 市民プール閉鎖を決定
- 6月 上谷総合公園サッカー場とテニスコートの一部供用開始
- 10月 鴻巣駅東口駅前広場とエルミこうのすショッピングモールオープン
- 鴻巣駅前行政サービスセンターを設置

平成20年
- 1月 路上喫煙、空き缶などのポイ捨て、犬の糞の放置を禁止
- コミュニティバス「フラワー号」馬室・田間宮・吹上コース運行開始
- 11月 こども教育ゆめ基金を創設
- 12月 北鴻巣駅西口自由通路を開設

平成21年
- 4月 吹上駅北口駅前広場供用開始
- 北鴻巣駅西口駅前広場、駅通り線供用開始
- コミュニティバス「フラワー号」笠原・常光コース運行開始

平成22年
- 5月 工業団地通線開通
- 7月 鴻巣中央図書館がエルミこうのすアネックスに移転
- 8月 鴻巣中央図書館に市民サービスコーナーを設置
- 10月 中学生女子を対象に子宮頸がんワクチン接種費用の全額助成を開始

平成23年
- 1月 中学生までの医療費窓口払いを廃止
- 2月 ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン接種費用の全額助成を開始
- 3月 鴻巣の赤物製作技術が国の重要無形民俗文化財に指定
- 4月 市税等のコンビニ納付・モバイル納付スタート
- 5月 第1回こうのす花まつりを開催
- 7月 4か月検診対象児からブックスタート事業開始
- 8月 吹上中学校新校舎完成

平成24年
- 2月 産業観光館「ひなの里」オープン
- 10月 「市民の日」制定記念式典
- 自治基本条例制定、こうのすの観光大使を任命

平成25年
- 1月 ジョブサポートこうのすオープン
- 3月 吹上支所新築移転
- 吹上パークゴルフ場増設
- 4月 市民活動センターオープン
- オリジナルナンバープレート交付開始
- 三谷橋大間線開通
- 7月 こうのすシネマオープン
- 吹上図書館新築移転
- 10月 コウノトリの里づくり基金を創設
- 産業観光館「ひなの里」の土蔵が県の景観重要建造物に指定

平成26年
- 1月 かわさと館（川里生涯学習センター、川里児童センター、川里支所）オープン
- 4月 病児保育室「パンジーキッズ」開設
- こどもデイサービスセンターオープン

このころの社会の動き

地方分権一括法の施行、合併特例債の新設などにより、全国の市町村数が半減する平成の大合併が行われ、地方自治の枠組みが大きく変わった年代です。高度情報化がますます進展し、福祉や環境などがより重視される時代となりました。

There was a big change in a framework of local administration during this period. The change was named the Great Heisei Mergers in which the Omnibus Decentralization Act was enacted and new special bonds for post-merger projects were issued. As a result of this, the number of municipalities in Japan was reduced by half. Throughout this period, the people have put more emphasis on welfare and the environment than ever, while witnessing the emergence of a far more advanced information society.

吹上支所開所式（平成25年）
地域の一体性の確立や均衡ある発展のため、吹上複合施設の建設が進行中。吹上支所は新施設に移転し、業務をスタートさせました。

産業観光館「ひなの里」オープン（平成24年）

三谷橋大間線開通（平成25年）

市民活動センターオープン（平成25年）
市民の皆さんの交流促進と、市民活動をしている人、これから活動しようと考えている人の拠点施設として整備されました。

鴻巣中央図書館オープン（平成22年）
鴻巣駅東口「エルミこうのすアネックス」の1階に移転。自動貸出機やパソコン専用カウンターなどが設置されています。

かわさと館オープン（平成26年）
川里支所のほか、地域の活動拠点としての川里生涯学習センター、川里児童センターを併設する複合施設です。

※の写真は、
ふるさとの想い出写真集 明治大正昭和 吹上（発行・国書刊行会）より転載

こうのす歴史物語

約2万年前から人々の暮らしが営まれてきた鴻巣市域。
数多くの遺跡や古墳群が奥深い歴史を物語ります。
源氏ゆかりの古代から宿場町がにぎわった近世へと、
時代を追って史跡や文化財をたどれば、
この地に生きた先人たちの
物語が見えてくるでしょう。

生出塚埴輪窯跡出土
貴人埴輪３

History of Konosu

The area around Konosu City has supported citizens' lives since people first started living there about 20,000 years ago. So many remains and ancient tombs reveal its long history. The area allows you to take a look at its history from ancient times to the early modern period. In ancient times, the Minamoto clan (also known as the Genji) seized power in Japan. In the early modern period, post stations were crowded with travelers from different districts. When you visit the historical sites and look into the cultural properties, you will encounter stories about the ancestors who lived in this area.

古代

東国最大級の埴輪窯跡が物語る人の高い文化

元荒川流域や荒川低地に人々が住みついたのは、約2万年から1万5千年前といわれています。赤城遺跡や滝馬室からはミミズク土偶など、縄文時代の貴重な遺物が多数出土しました。

古墳時代になると、埴輪の生産が盛んになります。特に6世紀初めから6世紀末にかけ、高度な技術を用いた埴輪を大量に生産した生出塚埴輪窯跡群は、東国最大級とされ、この地に根付いた古代人の高い文化を物語ります。

10世紀には源氏が土着し、清和源氏の祖・源経基の館跡とされる史跡も残されています。

伝源経基館跡

生出塚埴輪窯跡出土品（国指定重要文化財）

滝馬室出土ミミズク土偶
（東京国立博物館所蔵）

埼玉県指定有形文化財
赤城遺跡出土ミミズク土偶（埼玉県教育委員会保管）

中世

源氏の祖が土着し、戦国武将の攻防が繰り広げられた

石田堤

やがて戦国の世になると、この地は武将たちの攻防に巻き込まれました。石田三成の忍城攻めの際に築かれた石田堤や小谷城跡などが、往時の激戦を今に伝えます。

戦乱の中、人々は信仰に救いを求め、数多くの板碑が建てられ、千体仏も作られました。放光寺は鎌倉幕府の御家人として活躍した安達藤九郎盛長が創建したと伝えられています。

金乗寺の板碑

前砂の板碑群

放光寺の木造安達藤九郎盛長坐像

近世

中山道の宿場町としてにぎわい、鴻巣雛が名声を得た

近世になると、中山道が整備され、鴻巣宿がにぎわいを見せるようになります。将軍が鷹狩りをする際の休泊所として建てられた鴻巣御殿は、家康・秀忠・家光三代にわたって使われました。また、中山道の鴻巣宿と熊谷宿間は4里6町40間（約16・4キロメートル）あり、他の宿場に比べて距離があったため、中間地点に位置する吹上村に、幕府非公式の休憩地・中継地として吹上宿（間の宿）が興ったとされています。

中山道のほかにも日光脇往還（日光裏街道）が通り、八王子千人同心の通行がありました。さらに、荒川舟運による物資輸送が盛んになり、御成河岸や糠田河岸が栄えました。多くの人や物、文化が行き交い、鴻巣雛が名声を得たのも江戸時代です。

浮世絵「岐岨街道 鴻巣 吹上冨士遠望」
（埼玉県立歴史と民俗の博物館所蔵）

江戸図屏風「鴻巣御殿」（国立歴史民俗博物館所蔵）

鴻巣の食を堪能する！

鴻巣市は、
首都圏に位置しながらも、
緑豊かな自然が残ります。
その大地がもたらす自然の恵みが、
梨・ブドウといった果実です。
また、風土が育てた郷土のお菓子や
アイデア満載のご当地グルメもあります。
鴻巣が生み育てた鴻巣の食を堪能してください。

その1 みずみずしい果実たち 梨・ブドウ

常光・笠原・馬室地区では、梨・ブドウの栽培が盛んです。肥沃な土地と陽光に育まれた梨は、ずっしりと重く、適度な甘さとみずみずしさが特徴。ブドウは巨峰などが人気です。農園によっては、直売・直送をしています。

その2 川里地域の郷土料理 いがまんじゅう

祝い事やおやつなどで親しまれてきた郷土料理で、川里地域が発祥といわれています。甘いまんじゅうを赤飯で包んだ和菓子で、見た目が栗のイガに似ていることから、いがまんじゅうと名付けられたともいわれています。農林水産省の郷土料理100選にも選定されています。

その3 市民のアイデアから誕生 ぶどう大福

大きなブドウの実を、もっちりとした大福の生地で包んだ和菓子です。市民のアイデアを和菓子職人が商品化したもので、8月下旬から11月上旬の期間、市内5店舗でオリジナリティあふれる「ぶどう大福」がいただけます。

鴻巣 イベント一覧

鴻巣の四季を彩る

1 的祭（滝馬室氷川神社）

2 ひなの里「特別展」（ひなの里）
花久の里ひな祭り（花久の里）
鴻巣びっくりひな祭り（市内各所）

3 鴻巣パンジーマラソン（陸上競技場スタート）

4 さくらまつり
さくらまつり（吹上会場）（鎌塚イベント広場ほか）
さくらまつり（川里会場）（あかぎ公園）
さくらまつり（鴻巣会場）（鴻巣公園）
花のオアシスフェア ～チューリップまつり～（花のオアシス）
ふれあい鴻巣ウォーキング（市内）

5 こうのす花まつり
麦なでしこまつり（ポピー・ハッピースクエア）
吹上ポピーまつり（コスモスアリーナふきあげ周辺）
ポピーまつり（鴻巣会場）（ポピー・ハッピースクエア）
花の装飾・直売（せせらぎ公園）
バラまつり（花久の里）
鴻巣オープンガーデン（市内各所）
駅からハイキング（市内）

7 鴻巣夏まつり（中山道）
原馬室の祈祷ささら（原馬室観音堂ほか）
吹上夏まつり（吹上神社・中山道）

8 原馬室の獅子舞・棒術（原馬室観音堂ほか）

9・10 巫女の舞（鎌塚八幡神社）
商工フェスティバル 燃えよ！商工会青年部!!（糠田運動場）
こうのす花火大会（広田鷲宮神社）
広田のささら（小谷田枝神社ほか）
小谷のささら獅子舞（宮登神社ほか）
登戸のささら獅子舞（花のオアシス）
花のオアシスフェア ～サルビアまつり～（中山道加美～人形）
鴻巣おおとりまつり（コスモスアリーナふきあげ周辺）
コスモスフェスティバル
農業フェスティバル
かわさとフェスティバル（川里中央公園）
お十夜（勝願寺）
人形感謝祭（人形供養）（勝願寺）

11 西の市（鴻神社）

12

その4 厳しい栽培指標を自ら規定 こうのとり伝説米

鴻巣市で生産される有機栽培米です。埼玉の米「彩のかがやき」などの栽培には、独自に厳しい栽培指標を設定しています。ほのかな甘みと、ほどよい粘り気が特徴の地域ブランド米です。

その5 バラエティに富んだ こうのす川幅グルメ

こうのす川幅グルメとは、鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川の川幅が日本一であることにちなんで生まれたご当地グルメです。2009年、超幅広の「こうのす川幅うどん」が誕生すると、瞬く間に話題となり、埼玉B級ご当地グルメ王決定戦で2度の準優勝に輝くなど、常に上位にランクインする埼玉を代表するご当地グルメに成長しました。

今では、この日本一の川幅をイメージしたグルメは、うどんだけにとどまらず、とんかつ、鉄火丼、そば、和菓子、せんべい、スイーツなどにまで広がっています。

こうのす川幅うどん

川幅せんべい

川幅どらやき

Deeply indulged in delicious Konosu cuisine

Although it is located to the Tokyo metropolitan area, Konosu City still keeps intact most of its natural green environment. Above all, fruits, such as Japanese pears and grapes, have greatly benefited from Mother Nature. Therefore, the three areas (the Joko area, the Kasahara area and the Mamuro area) of the city are richly cultivated with Japanese pears and grapes. Local cuisine making full use of such local fresh produce include Iga manju, a sweet manju (popular traditional Japanese confection filled with red bean paste) covered with sekihan (festive reddish rice colored with steamed azuki beans); budo daifuku, a round Japanese confection consisting of a big budo (grape berry) covered with chewy daifuku (glutinous mochi cake) dough; and Konotori densetsu mai (legendary rice of oriental storks), organic rice produced in Konosu City. The Konosu kawahaba gourmet meal is a local gourmet meal which was created in Konosu City and named after Japan's widest river running through the city (kawahaba means the width of a river in Japanese). This local gourmet meal offers you a wide variety of choices. Those choices include kawahaba udon (thick white wheat noodles), tonkatsu (breaded, deep-fried pork cutlet), tekka don (bowl of rice topped with sliced tuna), soba (thin noodles made from buckwheat flour), Japanese confectionery and senbei (Japanese rice crackers which vary in shape, size and flavor). We hope that you will fully enjoy the delicious Konosu cuisine that has been created and developed in Konosu City.

Cinema Complex

日本初の市民ホール融合型映画館 シネマコンプレックス「こうのすシネマ」

東日本大震災の影響で営業を停止していた映画館を、鴻巣市が取得。2013年7月、映画を上映する7つのシアターに加え、コンサートや講演会などを開催できる市民ホールを備えた日本初の市民ホール融合型映画館としてオープンしました。「こうのすシネマ」というネーミングは、市民の公募で名づけられたものです。

花かおり 緑あふれ 人輝くまち こうのす

県央地域の中核都市・鴻巣市は、
平成28年度を目標とする第５次鴻巣市総合振興計画で
“花かおり 緑あふれ 人輝くまち”を
将来都市像として定めました。
平成24年には自治基本条例を制定し、
12万市民の協働のもと、
未来を見据えたまちづくりを進めています。

Konosu: a city filled with the scent of flowers and greenery which respects individuality

Konosu City, a major urban area in the heart of the prefecture,
laid out its future vision: “a city filled with the scent of flowers and greenery which respects individuality,
” in the Fifth Comprehensive Development Plan for FY2016 in Konosu City.
In 2012, it enacted the Basic Autonomy Ordinance
and has been working on far-sighted city development in collaboration with its 120,000 citizens.

7つのまちづくり

1. 安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり
2. すべての人が健やかで思いやりのあるまちづくり
3. 心ゆたかでときめきのあるまちづくり
4. 利便性が高くうるおいのあるまちづくり
5. いきいきと個性かがやく活力あるまちづくり
6. 市民協働のまちづくり
7. スリムで効率的な行政経営によるまちづくり

鴻巣市自治基本条例

市民と議会、行政による協働のまちづくりをさらに推進し、もっと住み良く、活力あるまちにしていくために、平成24年、自治基本条例を定めました。

情報共有の原則

市民と市が情報を共有し、参加と協働のまちづくりに取り組みます。

参加の原則

市民が市政に参加しやすい環境を整えます。

協働の原則

市民と市は、それぞれの立場を理解して信頼関係を深め、協働によるまちづくりを推進します。

Message from Konosu tourism ambassador こうのす観光大使

鴻巣市の魅力を全国にPRしてくださっている８名の「こうのす観光大使」の皆さんに、市制施行60周年に寄せてのメッセージをいただきました。

Messages from Konosu tourism ambassadors

There are eight Konosu tourism ambassadors, whose mission is to inform people across the country of Konosu City's attractions. These ambassadors have been working hard in order to accomplish their mission to promote the city nationwide. These are messages from the ambassadors which commemorate the 60th anniversary of the city.

Shoei

照英さん（俳優、タレント、司会）

鴻巣市の皆様、俳優の照英です。市制施行60周年、誠におめでとうございます。鴻巣市は私の故郷。そして、心の支えであります。大切な家族や友人たちの住む町です。私は、この鴻巣生まれであることを誇りに思います。私は、「こうのす観光大使」として、故郷鴻巣を精一杯ＰＲさせて頂きますので、皆様も私をぜひ応援してください。また、皆様とお会いできることを楽しみにしております。

Kei Otozuki

音月 桂さん（女優）

鴻巣市の皆様、女優の音月桂です。このたびは市制施行60周年、おめでとうございます。私は鴻巣市が大好きです。この鴻巣生まれであることを誇りに思います。これからもさまざまな活動を通して「こうのす観光大使」として、ふるさと鴻巣を精一杯ＰＲさせていただきますので、応援よろしくお願いします。

Cho

チョーさん（声優、俳優）

えええぇーーー？！ また、「こうのす観光大使」をやってもいいんかい？！ 前回、あんまし、お役に立てなかった気がすんだけんども。ほんでも、いいんかい？！ ありがたいやいねぇー。ほんじゃ、今回も、チョーがんばんべぇ！！❤

Yurika Mine

美根 ゆり香さん
（シンガーソングライター）

シンガーソングライターの美根ゆり香です。市制施行60周年、誠におめでとうございます。鴻巣の風景や空気感は、知らず知らずのうちに自分の音楽の中に刻まれています。私なりの心で、皆さんへの感謝を忘れずに、日々伝えていけたらいいなと思っています。いつまでもパンジーの花のように、強く明るくやさしいまちでありますように！

Hideki Sakuma

さくま ひできさん
（シンガーソングライター）

市制施行60周年、本当におめでとうございます。この街で生まれて、この街で音楽を志して、ただ度々この街を離れて活動をしようと思った日もありました。でも、生まれて今まで一度たりとも離れたことはありませんでした。全国を旅して歌を届けて、その発信が鴻巣だからこそ、我がふるさとだからこそ、あたたかい歌が届けられることを、今は実感しています。これからも鴻巣のさくまひできとして歌の旅を続けていきます。

Yusuke Hirayama

平山 祐介さん
（俳優、ファッションモデル）

鴻巣市の皆さん、俳優・モデルの平山祐介です。市制施行60周年、誠におめでとうございます。私が育った街、心の支えとなる家族や友人が住むこの街は、私の誇りです。「こうのす観光大使」として私たちの街、鴻巣を精一杯ＰＲさせていただきます。よろしくお願いします。

Hina-chan

ひなちゃん
（鴻巣市メインキャラクター）

こんにちは！ 鴻巣市メインキャラクターのひなちゃんです！ 市制施行60周年、おめでとうございます！ 鴻巣市にはきれいなお花がたくさん咲いているし、川幅うどんやいがまんじゅうなど美味しいものもいっぱいあるから大好きっ！「こうのす観光大使」として大好きな鴻巣をたくさんＰＲしていきます！ 応援よろしくおねがいします！

Shoko Otani

大谷 祥子さん（琴演奏家）

鴻巣市民の皆様、こんにちは。本願寺裏方であり琴演奏家の大谷祥子でございます。このたびは市制施行60周年、誠におめでとうございます。私は、祥韻会代表として鴻巣を拠点に演奏活動をしており、2013年、鴻巣ゆかりの「箕田源氏」をテーマに朗読音楽劇を公演しました。鴻巣市には歴史、文化、そしてロマンがあります。今後も演奏活動等を通して、鴻巣を広く内外に紹介していきたいと思います。

市民の憩いの場「せせらぎ公園」

コミュニティバス「フラワー号」

クリーン鴻巣市民運動

7つのまちづくり

LIFE ENVIRONMENT

1.安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくり

水と緑に恵まれた豊かな自然環境は、未来に引き継ぐべき本市の貴重な財産です。

すべての人がゆとりと潤いに満ちた暮らしを営むことができるよう、市民、地域、行政が一体となって、この自然と調和した快適な住環境の整備に取り組むことが必要です。

市民の憩いの場である公園・緑地の整備、安全で良質な上水道の安定的な供給、河川の水質を守り衛生的な生活環境を維持するための下水道整備などを計画的に進め、生活環境の充実を図ります。

また、ごみの減量化や資源化など、資源循環型の社会づくりにも取り組んでいます。

さらに、交通環境の充実、防犯対策のさらなる強化、防災体制の整備などにより、安全・安心でゆったりと暮らせるまちづくりに努めています。

City development which allows for a safe, secure and relaxed lifestyle

The city has made systematic efforts to improve its living environment, through the development of parks and green spaces, a stable supply of drinking water and improvements in sewerage systems. It has also been working on creating a recycling-based society. Furthermore, it is committed to city development which allows for a safe, secure and relaxed lifestyle, while improving the traffic environment, strengthening anti-crime measures and building a disaster prevention framework.

市民 interview

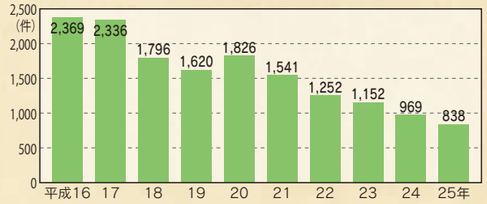
有志による防犯パトロールで地域を守っています。

田間宮地区自主防犯パトロール隊 隊長　**横山光市**（よこやまこういち）さん

平成15年、地区内で事件が起きたことをきっかけに、ひとりで防犯パトロールを始めました。次第に、仲間が１人増え２人増え、今では38人の隊員が小学校の登下校を見守ったり、地区内をパトロールしています。自治会ベースで結成されることが多い自主防犯パトロール団体ですが、我が隊は、完全な有志。自分たちのまちは自分たちで守るという思いで活動しています。

データで見る鴻巣

刑法犯認知件数の推移



（出典：埼玉県警察本部発表資料）

7つのまちづくり

HEALTH / WELFARE

2.すべての人が健やかで思いやりのあるまちづくり

少子高齢化が進む中、すべての人が住み慣れた地域で、生涯にわたって健康で活力ある生活を営むことは、すべての市民の願いです。

小児救急や高度医療を含めた医療体制の充実や健康づくりを推進しているほか、各種健康診査などによる病気の早期発見に努め、市民の自主的な健康づくり意識を高めるための健康教室なども実施しています。

また、子どもや高齢者、障がい者など社会的に立場の弱い方が不安のない暮らしを営むことができるよう、市民と行政が連携して地域福祉の充実を図るとともに、児童福祉や子育て支援、高齢者福祉、介護保険制度、社会保障など、きめ細かな福祉行政を進めています。

赤ちゃんに絵本を届けるブックスタート

介護予防事業（吹上サロン）

City development which allows people to live a healthy life and creates a caring society

The city is committed to improving its medical systems, including the emergency pediatric service and highly-advanced medical treatment, as well as promoting a healthier lifestyle. In addition, as part of improvements in community welfare, it has been providing meticulous welfare services in the fields of child welfare, childcare support, welfare for the elderly, the nursing insurance system and the social security system.

うんどう遊具を使用した「うんどう教室」

市民 interview

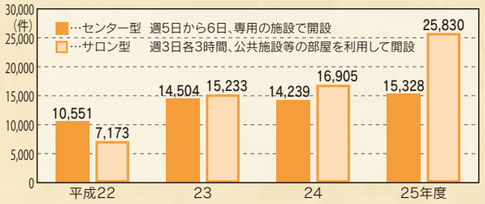
親が変われば子どもも変わる！親の成長を手助けしていきたい。

親学鴻巣地区会 代表　**志賀周子**（しがちかこ）さん

親が心豊かであれば、子どもも心豊かに育ち、親が幸せであれば、子どもも幸せという理念のもと、親育ち支援を行っています。鴻巣市には市内各地に未就園児のお子さんを持つお母さんたちの憩いの場である「子育てサロン」があり、その一つの運営を任されています。親学アドバイザーである私たちがスタッフとして、お母さん方をサポートしています。

データで見る鴻巣

子育て支援拠点での利用件数の推移



（資料：子育て支援拠点利用実績集計）

7つのまちづくり

3. 心ゆたかで ときめきのあるまちづくり

EDUCATION / CULTURE

市民が生涯を通して生きがいを見出し、創造性を発揮できるよう、社会教育・生涯学習の充実、スポーツ・レクリエーションの振興に努めています。

また、学校教育では、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力の調和が取れた児童生徒の育成に努めています。

教育、文化、スポーツ環境の整備を図ることにより、これまで培われてきた歴史や文化などを継承しつつ、国際化にも対応した新たな文化を創造し、人と人とが互いに尊重し合う心豊かでときめきのあるまちづくりを進めています。

生涯学習フェスティバル

スポーツ活動（吹上パークゴルフ場）

City development which enriches people's minds and instills a sense of excitement

The city has been working on creating a society which allows its citizens to find a purpose throughout their life and encourages their creativity. In order to make this happen, it has made efforts to improve its school education, social education and lifelong learning and promote sports and recreational activities, as well as develop the youth who will be responsible for the next generation.

共和小学校の授業風景

福島県金山町との交流 友好都市

福島県の西部に位置する金山町は、神秘的な伝説が残る沼沢湖、さわやかなブナの森、川、いで湯など大自然に恵まれた風光明媚な町です。金山町とは、合併前の吹上町と平成７年から友好都市関係にあり、合併後の平成18年に、鴻巣市と金山町で改めて友好都市宣言を行いました。市では、金山町民と市民の友好・交流を促進するため、金山町での宿泊費の一部を補助しています。

金山町の沼沢湖水まつり

市民 interview

沼沢湖での水遊びは大人気！ 毎年、金山町へ行くのが楽しみです。

吹上ロータリークラブ 会員　原（はら） 功（いさお）さん

毎年、ボランティアスタッフの協力を得ながら、子どもたちを連れて、金山町へ３泊４日のサマーキャンプに出かけています。吹上町と金山町に歴史的なつながりがあることからスタートした交流事業で、今年で27回目です。小学生の時、サマーキャンプに参加した経験を持つ高校生が学生ボランティアとして参加してくれているのは、とてもうれしいですね。

JR鴻巣駅東口

工業団地通線

JR吹上駅北口

7つのまちづくり

4. 利便性が高く うるおいのあるまちづくり

URBAN INFRASTRUCTURE

都市基盤の整った安全で便利な暮らしは、住みよいまちの基本です。

豊かな自然環境を生かしつつ、地域全体の均衡ある発展を図るため、総合的かつ計画的に土地利用を進めています。

人々の生活や都市機能を支える道路については、生活道路の改良・改修を進めるとともに、幹線道路の整備に努めています。

また、本市の玄関口となる３つの駅とその周辺は、さらなる活性化と利便性の向上を目指すとともに、災害に強く秩序ある街並みを創出し、人口増加や土地の有効活用を図っています。

さらに、水路の改修や雨水排水施設の整備等、雨水による浸水・冠水対策にも取り組んでいます。

City development which creates a convenient and pleasant society

While making full use of its rich natural environment, the city has been working on the comprehensive and systematic use of its land so that city development will not create an imbalance between different areas. The city has improved its residential roads and developed its highways. It will also make further efforts to revitalize and increase the convenience of the three stations whose nearby areas were completely renewed and their neighborhoods.

市民 interview

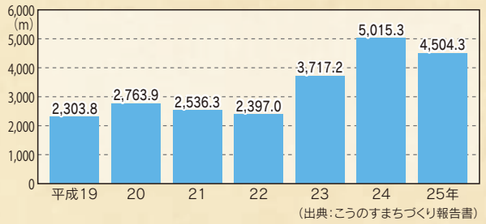
自分たちで新しいまちをつくり、自分たちでマネジメントしています。

ＮＰＯ法人エリアマネジメント北鴻巣 代表理事　木村（きむら） 忠彦（ただひこ）さん

土地区画整理事業を始めるにあたって、地権者と新しい住民が一緒になって、まちづくりを進めていきたいということで、北鴻巣駅西口土地区画整理組合を母体にし、ＮＰＯ法人を立ち上げました。新しい街・すみれ野の中心に設けた公園は、地域住民で管理しています。また、この公園ではさまざまなイベントを開催しており、地域住民の交流の場になっています。

データで見る鴻巣

生活道路改良延長の推移



（出典：こうのすまちづくり報告書）

7つのまちづくり

5. いきいきと個性かがやく活力あるまちづくり

INDUSTRY

産業の振興は、活力あるまちづくりに欠かせません。

地域の特性と花やひな人形等に代表される地場産業を生かした個性的な産業の振興を図っています。

また、魅力とにぎわいのある商店街の環境づくりや、既存商店の活性化に加え、企業の技術力向上及び経営体質の強化、新たな企業の誘致や産業創出の推進により、商工業の振興にも努めるとともに、勤労者の就労環境の向上を進めています。

さらに、豊かな自然、歴史的・文化的資源や地域特産物の花き等を生かした観光のPR、都市近郊型農業の特性を生かした農業の活性化、生産性の高い農業の確立なども進めています。

川里工業団地

梨の収穫

Energetic city development which respects individuality

The city has promoted its unique industries, making full use of local characteristics, such as the flower and hina doll industries. Moreover, it has made efforts to promote its commerce and industry. Those efforts include creating a better environment for shopping streets, revitalizing the existing stores, improving corporate technologies, building a better corporate culture, attracting new companies to the city and creating more industries.

商工フェスティバル

市民interview

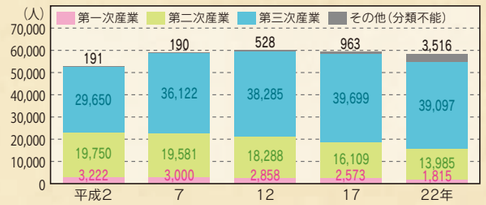
鴻巣の街の活性化に努め、もっと元気にしていきたい。

鴻巣市商工会 会長　小林忠司（こばやしただし）さん

地域の経済振興を目的に、市内の商工業者の育成や地域の活性化を図るためにさまざまな活動を行っています。2014年6月には、生活応援15%プレミアム付商品券を発行しました。今後におきましても、住みよいまちづくりのために、産業振興を充実して地域の活性化を図りながら、市と協力して、地域振興プランの策定等、楽しく住みよいまちづくりを推進していきます。

データで見る鴻巣

産業別就業者数の推移



※平成17年以前は吹上町・川里町(村)との合算　(資料:国勢調査)

7つのまちづくり

6. 市民協働のまちづくり

PARTNERSHIP

近年、少子高齢化や核家族化、都市化などの社会環境の変化により、人々の価値観やライフスタイルが多様化する中、今後のまちづくりにおいては、市民協働の推進と良好なコミュニティの形成がより一層重要となっています。

地域における市民のふれあいや交流を促進し、コミュニティ活動を活発化するため、自治会活動や市民活動団体の育成等を支援するとともに、相互交流や情報交換の場の充実に努めています。

また、市民と行政のパートナーシップの確立を目指した情報公開や広聴広報活動の充実などにより、市民協働のまちづくりを進めています。

コミュニティ活動（常光納涼まつり）

ボランティア活動（フラワーフレンズ）

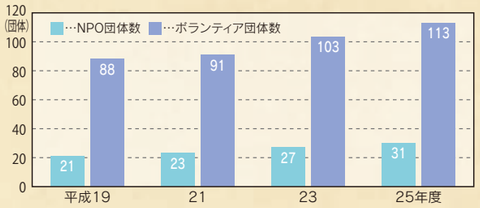
City development in collaboration with citizens

The city has implemented measures to encourage the citizens to socialize in the communities. Such measures include revitalization of community activities and development of and support for citizens' groups, as well as development of places for mutual exchanges and information sharing among the citizens. Furthermore, it has promoted city development in collaboration with citizens, while disclosing information, increasing opportunities to hear public opinions and enhancing its PR activities.

市民活動センター（観光ボランティア鴻巣ガイド会）

データで見る鴻巣

NPO団体数およびボランティア団体数の推移



(出典:こうのすまちづくり報告書)

市民interview

市民と自治の連帯を図り、コミュニティ活動を推進しています。

鴻巣市コミュニティ協議会 会長　家中盛（いえなかさかん）さん

駅前ライトアップの点灯式に合わせて、メッセージを印刷した花の種の配布や、共助・防災について学ぶ研修会の開催、住みよい地域づくりのために活動している個人や団体を対象としたシラコバト賞の一次審査などを行っています。今後も地域の活性化や地域間の交流の推進を図り、多くの市民に喜んでもらえるような活動をしていきたいと思っています。

7つのまちづくり

7. ADMINISTRATION スリムで効率的な行政経営によるまちづくり

地方分権への対応や行財政改革の必要性が問われる中、市民の満足を第一とした経営改革を推進するため、市民ニーズを的確に把握することに努めています。

また、事務事業を計画的に進めるとともに、行政評価システムの確立、職員定数の適正な管理、人材育成、自主財源の確保、民間活力の活用などにより、時代の変化に即応した効率的で機能的な行政経営によるまちづくりを進めていきます。

City development based on streamlined and effective administrative management

The city has been working hard on gaining a correct understanding of citizens' needs, in order to promote management reform which gives the highest priority to satisfaction of citizens. It will continue to be involved in city development, with the aim of implementing efficient and functional administrative management which will quickly respond to the changing times.

鴻巣市役所

吹上支所

川里支所

行政

市民と協働で住みよいまちづくりを目指します

長引く景気の低迷、少子高齢化や人口減少、地球規模の環境問題や地方分権の進展など、社会環境は著しく変化しています。本市の将来都市像「花かおり　緑あふれ　人輝くまちこうのす」を実現するため、さらに効率的かつ効果的な行政経営を目指しています。

また、市民と行政が情報を共有し、市民参加のしやすい環境を整え、市民と行政の協働によるまちづくりを推進しています。

左から、樋上利彦副市長、原口和久市長、武藤宣夫教育長

Public Administration

The social environment has been changing significantly, posing many challenges that pertain to issues such as the prolonged economic downturn, aging population combined with the declining birth rate, dwindling population, global environment concerns and decentralization of power from central government to local administration. To realize its future vision, "Konosu: a city filled with the scent of flowers and greenery which respects individuality," Konosu City continues to strive for the efficient and effective management of the public administration.
In addition, in order to realize city development that promotes the collaboration between the people and the public administration, it is ensured that the information is shared between the two and that the environment is set up to encourage the participation of the citizens.

議会

市民の大切な声を鴻巣の未来にいかします

市議会は、市民の代表として選ばれた26人の議員で構成されています。年4回の定例会のほか、必要に応じて開催される臨時会を通じて、市民の意見を反映させながら、市政の方向性について議論を尽くしています。

また、政策総務、文教福祉、まちづくり、市民環境の4つの常任委員会では、所属の議員による専門的な調査や審査が行われています。

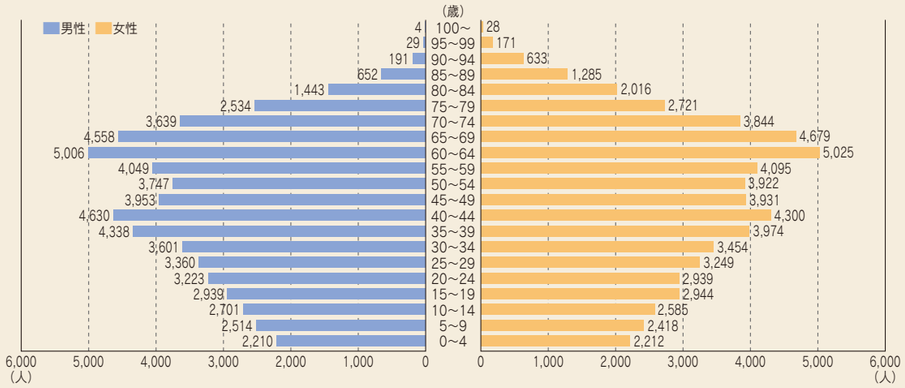
左から、坂本晃議長、野本恵司副議長

Assembly

The city council consists of 26 city councilors that have been selected to represent the citizens. In addition to the regular meetings held four times a year, special meetings are held as needed to have exhaustive discussions on the future direction of municipal administration while reflecting citizens' opinions in governing the city.
Also, there are four standing committees pertaining to different issues (political measures, educational welfare, city development and citizens' environment) where the committee members conduct specialized research and analyses for each area.

市議会

●年齢別男女別人口構成

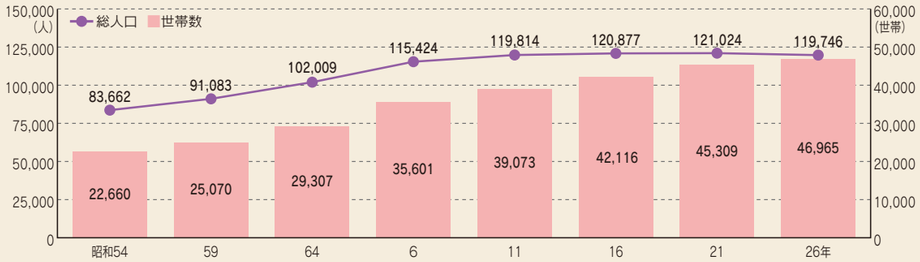


平成26年１月１日現在　資料：住民基本台帳

人口

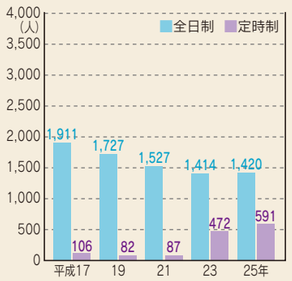
人口は119,746人（平成26年１月１日現在・外国人登録を含む）で、男性は59,321人、女性は60,425人です。

●人口の推移



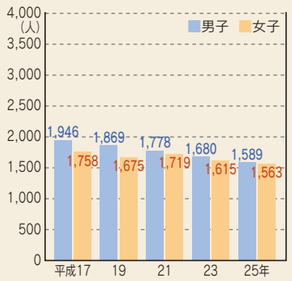
※平成16年以前は吹上町・川里町（村）との合算　資料：埼玉県町（丁）字別人口調査

●高等学校生徒数の推移



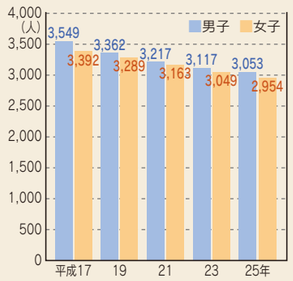
資料：学校基本調査

●中学校生徒数の推移



資料：学校基本調査

●小学校児童数の推移

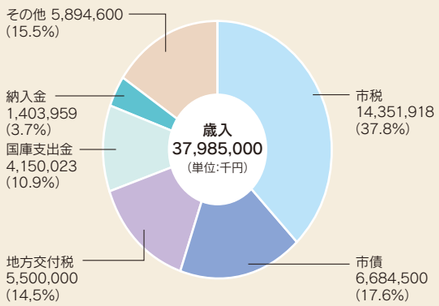


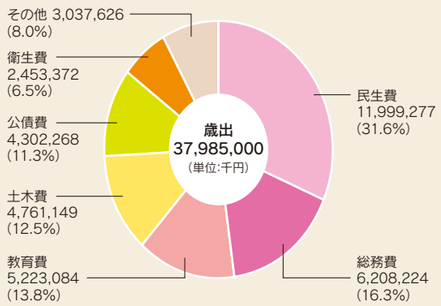
資料：学校基本調査

教育

平成25年現在の学校総数は43（幼稚園10、小学校19、中学校８、高等学校３、専修学校等３）、児童生徒学生数は13,105人です。

●歳入歳出（平成26年度）





財政

市制施行60周年を迎える平成26年度を「新たなる出発、新たなる挑戦の１年」と位置づけ、一般会計予算の総額は過去最大の予算規模となっています。

統計で知る鴻巣市
DATA of KONOSU 2014

東　経	139度31分29秒
北　緯	36度3分47秒
面　積	67.49㎢

地勢

鴻巣市のプロフィール

鴻巣市は埼玉県のほぼ中央に位置し、南西部を荒川が流れる肥沃な土地で、気候にも恵まれ、花きや果樹などの栽培に適しています。

「こうのす」の名の由来は、かつてこの地に无邪志国（むさしのくに）の国府が置かれたことから「国府の州」が「こうのす」と転じ、後に「鴻（こうのとり）伝説」から「鴻巣」の字を当てるようになったと伝えられています。

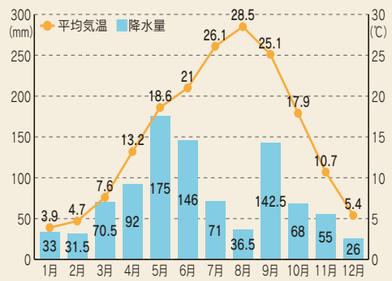
昭和29年に１町５カ村（鴻巣町、箕田村、田間宮村、馬室村、笠原村、常光村）が合併して県内17番目の市として誕生した本市は、江戸時代には中山道の宿場町として栄え、380年余の伝統を誇る「ひな人形のまち」として、また近年では「花のまち」としても全国にその名が知られています。平成17年10月１日に、吹上町、川里町と合併し、新鴻巣市が誕生しました。

現在では東京から50km圏内という地理的条件に恵まれ、県央地域の中核都市として発展を続けています。

Profile of Konosu City

Located almost in the center of Saitama Prefecture, Konosu City is covered with rich soil thanks to Arakawa River running in the southwest. Blessed with a nice climate, it is suitable for growing a variety of fruits and flowers.
Konosu City was born in 1954 as the 17th city in Saitama Prefecture after the merger of one town and five villages (Konosu Town, Mida Village, Tamamiya Village, Mamuro Village, Kasahara Village and Joko Village). During Edo Period, the city prospered as the post station on Nakasendo Road. It boasts over 380 years of tradition as the town for hina dolls and has recently become nationally renowned as the "city of flowers." Konosu City merged with Fukiage Town and Kawasato Town on October 1, 2005 and was reborn as a bigger city.
Perfectly located within 50 km from the Tokyo metropolitan area, the city continues to develop as one of the major urban cities in the central region of the prefecture.

●月別平均気温・降水量

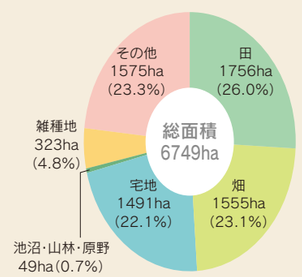


資料：埼玉県央広域消防本部

気象

平成24年の年間平均気温は15.2度、降水量は947.0㎜、平均湿度は70%、平均風速は2.5m/秒。晴日が224日ありました。

●地目別面積

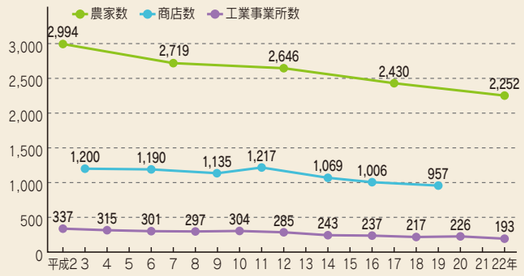


平成25年1月1日現在　資料：統計こうのす

土地

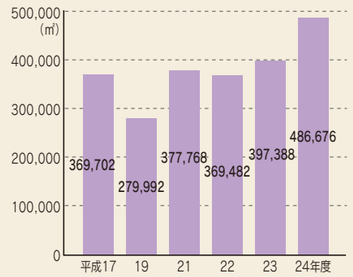
総面積から池沼面積・山林面積・原野面積を引いた可住地面積は、県内第２位を誇ります。平坦地が多く住みよいまちです。

●農業・工業・商業の推移



※平成16年以前は旧吹上町・川里町（村）との合算
資料：農家数＝農林業センサス、工業事業所数＝工業統計調査（従業者４名以上）、商店数＝商業統計調査

●花き作付状況の推移（面積比）



資料：統計こうのす

産業

全産業の事業者数は4,026、就業者数は58,413人（平成24年国勢調査）です。また、平成25年中に鴻巣市に訪れた観光客数は、1,387.5千人に及びます。

KONOSU GUIDE MAP
鴻巣市ガイドマップ

市 章

「こうのす」の四字を円形にかたどって輪唱したもので、昭和7年3月10日一般から募集、市制施行前から町章として使用していましたが、昭和29年9月30日市制施行と同時に市章として制定されました。

市の花：パンジー

本市の花き栽培として最初に生産されたゆかりの深い花であり、市民に愛され親しまれている花として市制施行20周年を記念して、昭和49年11月5日に指定されました。

市の木：けやき

武蔵野鴻巣の風情を代表する樹木として昔から親しまれ、躍進する鴻巣を象徴する木として、市制施行30周年を記念して昭和59年11月6日に指定されました。

メインキャラクター「ひなちゃん」

鴻巣市の地名の由来とされている「こうのとり伝説」のこうのとりのヒナがモチーフ。こうのす観光大使も務めています。平成16年8月1日に誕生しました。

シンボルマーク

鴻巣市の頭文字「K」がメインモチーフ。左側が自然と緑＝伸びやかに育つけやき、右側が飛躍＝はばたくコウノトリ。中央にパンジーをイメージした円を配置することにより、全体で優美なひな人形となります。合併1周年にあたる平成18年10月1日に制定されました。

鴻巣市民憲章（昭和49年11月5日制定）

人形のまちとしての長い伝統、近代都市として発展する鴻巣、わたくしたちは、郷土の繁栄と市民の幸福をはかるために市民憲章を定めます。

1 わたくしたちは
　親切をつくし、助けあい住みよいまちをつくりましょう。
1 わたくしたちは
　健康で元気にはたらき、豊かなまちをつくりましょう。
1 わたくしたちは
　環境をよくして、美しいまちをつくりましょう。
1 わたくしたちは
　きまりをまもり、安全で平和なまちをつくりましょう。
1 わたくしたちは
　教養を高め、明るい文化的なまちをつくりましょう。

発　　行●埼玉県鴻巣市
〒365-8601 鴻巣市中央1番1号　TEL.048-541-1321　FAX.048-542-9818　http://www.city.kounosu.saitama.jp/
発 行 日●平　成 26 年 9 月
企画・編集●鴻巣市秘書室秘書課
制作・印刷●朝日印刷工業株式会社